愛國婦人

定價一部金參錢五厘　一ヶ月分金七錢　半年分金四拾貳錢　各冠無郵送料

廣告料一行六拾錢

本誌各部禁轉載

每月二回　五日廿日發行

發行所　東京麴町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人發行所

印刷兼發行人　山脇俊夫

編輯人　永持德一

社說

流行と死（一）

（對話を以て社說に代ふ）

流行　オヽ、死の君、死の君よ。

死　時の來るまで待たれよ。時來らば、我れを呼ばずとも、我れは君を見舞はん。

流行　我れを見舞ふとや。さらば我れも、なべての物の如く、死するものにや。

死　我が世話に預らずと、君は思へるか、不死の時代は既に數十年の昔に去れり。

流行　不死を歌へる詩人もあり。不死と歌はれたる偉人もあるにあらずや。

死　死を歌へる詩人、死して忘れられたる偉人はなほ多し。況してや、死ぬを定めの多數凡人をや。

流行　君は不正邪惡を好むとか。願はくは止まりて、我れを熟視せよ。

死　我れは先程より君を見つゝあるなり。

流行　君は知れりや。我れの何者なるかを。

死　見らるゝ如く、我れは無眼なり。眼鏡はありても、益なし、我れには掛くべき鼻もなければ。

流行　我れを知らざるか、我れは流行なり、君の姉妹なり。

死　なに、我が姉妹とや。

流行　君は忘れたるか、我々は「腕さ」の生める子供なることを。

死　忘るゝは、我が掟なり。我れは記憶の敵と知らずや。

流行　君の意は、我れよくこれを解せり。我等の役目は共に、下界のあらゆる物を、絶へず破壞し、變化するにあり。たゞ君と我れとは、その方法を異にするのみ。

死　獨語ならばよし、さらずば、今少しく高聲に語られよ。見らるゝ如く、我が耳は、眼の如く惡るければ。

流行　されど私語は、天の聞くこと雷の如しといはるゝにあらずや。

死　そは天の事なり、我が事にあらず。

流行　私語は我が手段なり、婦人の耳には常に私語あり、よく我が言を聞く。

死　我れは君の言を聞かず。又君の姉妹にもあらず。

流行　君はなほ我れを解せざるなり。疲れずば、今暫く我れに耳を借されよ。我れもまた君の聞き得るやう語るべし。

死　我れは一本の脊骨のみにて立つものなり。すべて長きは、我が禁物なれど、暫く鎌の柄に縋りて君の語るを聞かん。

流行　見られよ、我が手に持てる此の羽扇を。こは我が祖母「虛榮」より授かりたるものなり。我れ或る事を人間界に行はんと欲し、一たび此扇を以て煽ぐときは、人間の我が意に從ふこと面白きほどなり。むづかしき顏して、道を說き、法を談ずる大先生も、道德いかめかしく、世俗を笑殺せる大達人も、一たび我がこの羽扇を以て煽ぎ立つれば、草の風に靡くが如く、日頃の主張、手前をも忘れて我れに靡くこと、可笑しく氣の毒なり。況して、世の人々、殊には我れを生命とせる婦人をや。脆きものよ、汝の名は女なり。

死　一般の論は、我が好む所にあらず。君を生命とすといふその婦人に就ての君の功名談こそは、我れの望む所なれ。

流行　その昔つれ〲なるまゝのいたづらに、婦人の齒の髮の如く黑からんには、さこそ面白かるべしと思ひて、或る婦人の嫁入りせるときその扇にて煽ぎたれば、彼女はやがて齒を黑く染めぬ。これより婦人の齒を染むること廣く行はれ來りしが、最早これにも飽きて、扇の手を止めたれば、今は婦人の齒を染むるものなく、その白きが常とはなれり。

死　我れは、眼もなく、鼻もなく、耳も穴ばかりなれど、齒のみは白きがよく揃ひて在り。婦人の齒と孰れか美しきや。

流行　君の齒は白けれども光澤を有せず。且顴なければ、恐しく長くして醜し。婦人は齒の白く光澤あるに飽き足らで、黃金をさへ塡めたれば、美しきこと、君の齒の比にあらず。これも我が指圖に由る。加之、婦人の指にも頭にも、帶止めにも、時計にも、黃金を附けしむることは、我れの發案にて、始めは如何にと危ぶみしが、思の外の成功にて、今は婦人にして黃金を身に附けざるはなし。見られよ、そこを通る婦人の黃金を鏤めて揚々たるさまを。

死　如何にも如何にも。美しきかな。我れは斯る婦人を侍女とはなしたく思ふなり。

流行　電氣もまたこれを願へり。されど、その君の侍女たると電氣の侍女たるとは、我れの關する所にあらず。我れはたゞ婦人を黃金の奴隸とすれば足る。

流行　我れは必ず彼女を侍女とせざれば止まじ。

▲廣告

愛國婦人會發行奧村五百子詳傳發行間際に先ち昨年事故解傭せられし手島益雄の著はせる奧村五百子言行錄なるものを近頃婦人會と云ふ名義にて購覽を本會員に勸誘する人ある由なるも右は本會とは何等の關係之れ無く候に就き念の爲め廣告候也

愛國婦人會

事務長代務　佐藤

●正

右廣告は前號に掲載せるも脫漏の點ありしを以て訂正掲載す

發行所　東京麴町區牛ヶ淵公園　愛國婦人發行所　△振替貯金口座番號第壹萬壹千八百壹番　●電話番町一五二〇　一七四五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

家庭と言語（上）

江原素六

男が子を生む――男も一種の子を生む――「範頼在り、憂ふる勿れ」――言語を愼むこと難し――語る前に先づ考へよ――三宅島の人日を知らず

△男が子を生む支那？

西郷従道氏日本の大命を帶びて支那へ行かれし時、突然李鴻章に向かひ「御國では男が子を生みますか。」と尋ねたので有りました。

何故西郷氏が李氏に此のやうな質問を致したかと云ふに、此の時西郷氏の給待に出たものに婦人は一人も無くて、男子ばかりでありました。そこて、西郷氏は支那では男子が婦人の用事をもすると見える。すると婦人の役目たる子供を生むことも、支那では婦人の代りに男子がするのであるかと、斯う皮肉な質問を致たので有りました。

△男も一種の子を生む

男が婦人のやうに子を生まないのは云ふまでも無いことでは有りますが、併し男といへども一種の子を生むのであります。一種の子とは精神の子であります。吾人の言語――これが取りも直さず精神の子であります。

吾人の言語は吾人の心に似るので有ります。此言語に依つて吾人の精神の善惡は鏡に懸けて見る如く明瞭に判るので有ります。されば言語に依つて吾人の品性は他の人から窺はれもすれば、また、此の三寸の舌に依りて恐しき禍を來すこともあるので有ります。舌三寸の爲めに甚だしき禍に遭ふことの實例は我が國の歷史にも、幾許も誌されて有ります手近い處で一例を擧げれば――彼の範頼で有ります。

△「範頼在り憂ふる勿れ」

諸姉も御承知とは思ひますが、彼の源範頼――蒲冠者は義朝の第六子であつて、頼朝の弟であります。時は建久四年のことで有りましたが、彼の曾我兄弟が復讐をした。この際頼朝までも殺されたと云ふ風評が鎌倉まで傳へられたので有ります。爲めに政子御前は非常に驚き悲んだ。それを慰めたのは宜いが、慰めの言語は他にもあらうに、範頼は斯う云つたので有ります。『範頼在り憂ふる勿れ』――何うも飛んだ言を云つたものであります。それも頼朝との兄弟仲が宜ければ未矣でありますが、義經追討の一件から既に兄弟仲が宜しく無い。かゝる時、かゝるよしなき言を云つたのですから此の時、範頼の受けた舌の禍は大したもので有りました。御承知の如く結局誅戮されて終ふたので有ります。舌の禍――舌の禍も何と恐しいことではありませぬか。心の子たる人間の言語、此の言語も使用法一つで斯る舌禍がありとすれば、極めて危險なものでは有りませぬか。

△言語を愼むこと難し

精神の子たる此の言語の濫りであり、善良で無いのは、要之かゝる子を生む親即ち其の人の精神の宜しからぬので有ります。また此の言語に依りて其の人の精神の善惡が他から判るので有ります。されば言語を愼むことが大切である。併し此の言語を愼むことは非常に難しいことであります。故に司馬温公も濫りに口を開かぬとを以て心の戒と致て居りました。また孔子も『云ふは易くして行ふに難し』と斯う云つて居ります。彼の藺相如の勇を以てしても、夜光の玉は取りかへすことが出來るけれども、一度發した言語を取りかへすことは出來ないので有ります。

△語る前に先ず考へよ

されば東西古今の偉人は品性の陶冶と言語とに對して敎ふること實に懇篤を極めて居ります。吾人は彼のワシントンの如く人の弱點を云ふことは斷然やめねばならぬと思ひます。それと同時に人の過失を確かに知つて居つても、之を社會に發表する義務なしとの古人の戒めも亦た能く／＼服膺せねばならぬと思ひます。

ワシントン又た曰く、汝語る前に先づ考へよ。語るならば極めて明瞭に極めて順序正しく語れと。これも實に動かすことの出來ぬ金言であります。

こゝに考へずして語りし爲め、大失策をした一場の物語がある。話の主人公は有名なる東京の女學校の敎育を受けた女敎師であります。

△三宅島の人日を知らず

この女敎師は曾て三宅島を巡廻して歸つて來たが、その砌、或る人に斯う云ふことを物語つたのであります。

『三宅島の人は日を知らないのです』

それは全體何う云ふ理由ですか、と斯う尋ねた。すると

女敎師『何故でも三宅島に居りました時に、三宅島の人は斯う云ふことを云ひました。「何某と云ふ人はあしたから病氣になつていふべ死んで終ひました。」何うてしやう斯う云ふことを申して居りました。――明日から病氣になつて昨夕死んだとは、まあ不思議なこと、昨日からと云ふんならば判つて居りますのに。』

と斯う云つたので有ります。尙ほ女敎師は言葉を續けて

『私が、三宅島の人は日を知らないと云つたのは不思議は御座いますまい。』

と大分得意な樣子。

併し諸姉、考へて御覽なさい。此の女敎師が如何に語る前に考へなかつたか。直ぐ明瞭に判るではありませんか。晨を明日と思ひ違ふとは、扨ても、扨ても!!

――（番町講演會にて）――

理科十二時

―（二）―

編輯主任　永持德一

人間の私慾、唯我心も投げやりにして置けば、この草の如くはびこるに相違ない。あゝ恐しきは罪！　罪惡のはびこる有樣も此の雜草の時を得顏なるに似たりまた思ふ、罪は心の腐敗である。だから一寸見の外面からは一寸分りかねる。飮料水の善惡も恰度この通りに外面からは一寸分りかねる。が、罪も大いと目立つが如く、飮料水も甚だしく惡いのは直ぐに分る。鷄卵の腐敗したやうな臭氣を發するのは、硫化水素の溶けて居る證據、便所のやうな臭氣のするのは、アムモニアの溶けて居る證據。この兩瓦斯は恐るべく忌むべきものであるから注意せねばならぬと、これも友人から嘗て聞いたのを思ひ出しながら、又庭掃除を初める。

一通り掃除を爲終ると例によりて朝餐の段取りになる。太郎も次郎も、お君もお小夜も諸共に圓卓子を圍む。お斷り致して置くが太郎は長男、次郎は次男、お君は長女、お小夜は妻の名前である。

酷暑の此頃、早朝からむし／＼と暑い。

「……妻の小夜は椽の邊へ進み簾を捲き上げた」

子供等は孰れも冷いものを欲しがる。だから、卓の上には湯ざましの用意がしてある。

此の湯ざましは蓋し我が一家の誇りとする處で有つて、素人の遣り方としては是程安全な飮料水は他に在るまいと思ふ。尤も湯ざましと云つても蓋もしないて、空氣に曝すやうでは空中から黴菌が入り込むから其効は餘り無い。抑も湯ざましは之を井水や河水に比べると、其味はひが極く淡泊て有る。これ主として水の中に溶け込んだ氣體が沸したゝめに飛散したからのことである。

全體水に美味のあるのは何に依るかと云ふに、主に空氣――殊に二酸化炭素の溶け込んで居るが爲めてある。

嘗て斯ふ云ふ談話を海員から聞いた記臆が有る彼の遠洋航海の際、海水を蒸餾して飮料水にしやうとする場合には、其蒸餾した水を甲板の上で淸潔な棒なぞて攪拌、十分空氣を溶し込すのてある。すると、極めて無味淡泊な蒸餾水も、次第に云ふべからざる爽快の味を呈する。

空氣の水に溶け込むことが、如何に水の味ひに關係のあるかは、この一例に依つても知ることが出來ると此話を聞いた當時左樣思つたことが有つた。

食事が濟むと妻の小夜は椽の邊へ進み簾を捲き上げた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

武士道と家庭

女子大學教授　戸川殘花

△人を感化し、教化するには如何なる場合に於て最も強い印象を與ふるかと云ふに、多くの場合、四角張つた儀式的の時よりも、寧ろ互ひに相團欒し、足を投げ出し菓子を喰べ茶を啜ると云ふやうな時に於て最も強い感化を與ふるので有る、と、私は思ひます。

△右樣の次第でありますから、女學校に於ては寄宿舍を重んじ、寄宿舍生活に注意に注意を加へるので有ります。――と云ふのは申すまでも無く、教場に於てよりも寄宿舍に於ての方が學生に感化を及ぼすことが、大且強いからで有ります。

△私は朝々暮々無意識の裡に受くる感化をば、極めて重いこと、思ひます。されば寄席や演劇場なぞで偶然に受ける感化刺戟は、四角張つた音樂會なぞで受ける刺戟、感化よりも強く且つ深いことが屢屢てあります。

△てありますから、彼の『佐倉惣五郎』の傳記とか、また新内節やなぞに致たのも頗ぶる大いなる感化、武士道的刺戟を家庭に及ぼし來り、また時代思潮の變つた今日までも淺からぬ感化を及して居ること、私は思ふのであります。

△私は先つ頃、或る寄席で『新内節佐倉惣五郎』を語るのを聞きまして、少なからぬ刺戟――武士道的刺戟を受けたので有りました。

△御案内の如く佐倉惣五郎は、德川時代の民權家――勿論、その頃には民權家と云ふやうな名稱のある筈は無かつたのですが、今日で所謂民權家で有りましたので。て、その藩公は堀田家。彼惣五郎は此の堀田家の良民で有りました。而して、その當時の禁を犯し、郷黨の爲めに將軍家へ越訴したと云ふのが、極く簡單なる彼宗五郎の事蹟で有ります。

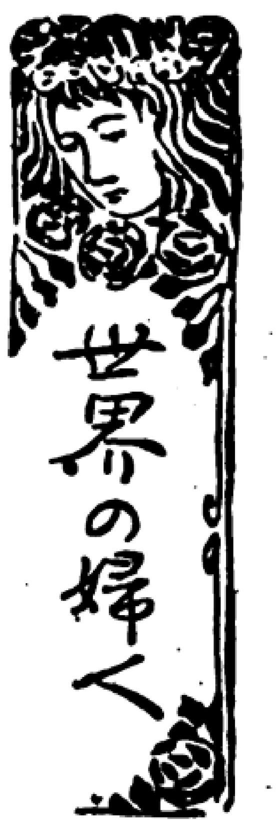
△前段にも述べて置いた通り、此の惣五郎の事蹟が、如何に德川二百五十年の間に於て大いなる感化を及ぼしたことで有つたかは、吾人の想像出來ぬ程であります。それて、此の惣五郎のことありて後伏見にも此類のことあり、その他の地方にも屢々この類のことの有つたのから考へても、一惣五郎の事蹟が、如何に大いなる刺戟を與へたかは判るので有ります

△武士道と云ひますと、多くの人は兎角二本指しの人々のみの特有の權利、特權だとばかり思ふ人が多い。成る程當時の二本指しは此の武士道の代表者で有つたに相違ない。が、併し、武士は武士道の代表者であると云つても、武士道は必らずしも武士のみの特權とは云へぬので有ります。されば、彼惣五郎は一個の良民とは云へ、武士道のたしなみ有りしと云ふことが出來るので有ります。

△佐倉惣五郎は武士道のたしなみ有りし良民で有りました。良民で有つたとは申せ、一箇の農民たるに過ぎず、從がつて其の實歷や別に上品なことは無いので有ります。封建時代の思潮に泥んだ當時の人は、別して左樣思つたに相違なく、また現代の人にしてからが、封建思想を本位に致て居る人は必らずや左樣思ふに相違ない。が、併しながら上品な談のみが家庭に感化を及ぼすとは限らないので有ります。

△私は二十世紀の今日の日本の家庭の上に、依然として武士道の感化が及ぼされて居り、而も此の感化、刺戟が四角四面の講壇なぞからでは無く、大して重きを措かれぬ物の本とか、偶然に立ち寄る寄席、演劇場乃至は不圖耳にする音曲なぞから深甚な武士道的印象を人心に遺すことを信じて疑ひませぬ。

――（麴町講演會にての講演　節略筆記、文責記者に在り）――



ルーテルの母（三）

文學士　S　U　生

ルーテルの父は嘗て鑛業に從事して居つたが、夫ハーンが毎朝その鶴嘴を肩にして鑛坑に入つて居る間に妻のマルガレットは薪を集めて家土產にする爲めに近くの森へ出かけて行くといふやうにして、二人とも力の限り其肉身を働かせて居たのであつた。

然るに、それにも關はらず、貧苦は稍やともすると夫婦の勞働に追ひ付いて來るので、夫婦のものは唯だ最早力の限り根かぎりと働いた。

それと同時に其子供等には出來るだけ保護を與へ出來るだけの教育を授け、出來るだけの慈愛を垂れたのであつた。

とは云ふもの丶、その教育法は仲々嚴しいものであつて、他日の偉人マルチンルーテルの如き、その幼時に於ては、隣人の庭から櫟の實を盜み取つて來た爲めに其母から殆んど血の出るまでに背を打たれたことも有つたさうである。その他寸毫でも宜からぬことを致た時は、父の憤怒を恐れて、その日は一日父の眼を避ける爲め烟筒の背後に隱れて居たと彼自身物語つたのに依つても、如何に其父が嚴格な人であつたかゞ判るであらう。

と、此やうに云ふとルーテルの兩親は如何にも野蠻な教育を其子に施したやうに見えるが、全體この當時に於ては

『小兒を鞭打つ手を寛めることは、その小兒の教育を疎外するものだ。』

と云ふやうに思ひ、しかも、か丶る思想が、ルーテル時代の前後、即ち今日から四百年前には、獨逸に於て最も極端に達した時なので有る。されば此當時に於て人の子は其親を愛するが爲めに、其親に對して從順であるのでは無くして、その親を恐るゝが爲めに親に對して從順にして居たのであつた。

これに依つても、當時の有樣を覗ふことが出來やうと思ふ。

『自分の兩親は、自分が極めて臆病になつたほど自分を酷く待遇つた、或日のこと、眞の詰らぬことの爲めに、母は血の出るまで自分の背を打つたのである。兩親は實に左樣するのが正しい方法であると考へて居た。が、實のところ兩親は、いかにして如何なる方法を取ることが、眞實に其の子を罰する方法であるかを知らなかつた。』

▲次號の誌上にはまた〱嶄新の意匠に成れる新懸賞問題を掲げます

▲其の問題は何てしやうか、之れは次號の出るまでの大秘密て有ます

▲尚又次號の紙上には先月末日締切の新懸賞の結果を披露いたします

▲何人が合格したので有るか、何人の答案が最妙であらうか？？

△今年の暦△

八月（大）
August.

日 S	..	2	9	16	23	30
月 M	..	3	10	17	24	31
火 T	..	4	11	18	25	..
水 W	..	5	12	19	26	..
木 T	..	6	13	20	27	..
金 F	..	7	14	21	28	..
土 S	1	8	15	22	29	..

圖書クラブ

△中等國史辭典

不破・矢野・山内三文學士共編△京橋南鍋町歷史館發行△定價一圓五拾錢

□特色　本書を徒に書架の裝飾となして、實用に適ざからしむるが如きは編纂者並びに出版者の素志に非ず――と卷頭に認されてあるのが一特色△定價の至廉なるには似ず卷末に彩色、石版、木版等の國史上參考となるべき挿繪を數十枚付けてある――これも一特色△小さいながら此種類の辭典の嚆矢で調べも仲々行き届いて居る。それに少しハイカラ式とは云へ、源頼朝とあるべきをヨリトモ●ミナモトとして有るので頗ぶる索引に便てある。これも一特色。

□内容　の見本として此處に一二を轉載すれば

――さみせん〔三味線〕三線の轉訛とも又は蛇皮線の訛といふ。其濫觴及年代に關しては諸說あり。文祿の頃石村檢校と云へる琵琶師琉球國に渡り彼地に行はる丶三絃の樂器小月を學び、京都に歸りて後琵琶を改造して三味線を作れりとも或ひは永祿年中蛇皮を張れる二絃の樂器琉球より渡來せしを琵琶法師中小路（後に虎澤）といへる盲人工夫して一絃を加へ三絃となし、本手組手の彈法を定しともいふ。兎に角織田豐臣時代に渡來せし琉球の樂器を琵琶法師が改造して、今日傳ふる三味線を作り初めしにて、文祿の頃石村檢校よく之を彈じ其法を弟子虎澤檢校に傳へ、漸次世に廣まりしなり。尙詳しくは筠庭雜考を參考すべし。

○○○さむらい〔侍〕平安朝にては攝政關白大臣などの家に奉仕せしものを稱し、武家時代には武家に奉公するものを稱したり。皆帶刀して平民以上の資格あるものと認められたり。

△割烹講義錄

東京本鄕駒込千駄木町五十七大日本割烹講習會發行△七月二十日第一號發行

□特色　か丶る種類の雜誌の嚆矢なるが第一の特色なり△日本割烹の講師は井上學習院女學部教師、西洋割烹は宇野外務大臣官邸廚夫主任、外に別科の講義講演、諸家珍調、名家談叢、雜報ありて材料豐富なるが特色なり。

□内容　の見本として『日本割烹』中の一を揭ぐ〔新芋〕新芋をザット茹てあげ、アトさきを切り、煮汁を入れ、味淋醬油を加へて煎るなり。分量は芋一升に煮汁二合、生酒一合、砂糖十五匁、醬油一合、右にて煮汁の二合位に煮つまりしとき味淋一合を加へるなり。汁のつきかゝるまで煮ればテリがつくなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

譚叢

松尾多勢子刀自の話

佐々木信綱

歌は人の性情より出でたる誠の聲なれば、鬼神をも其德に感ぜしむるを得べし、彼の明治維新の際に、國事に奔走せる人人の愛國悲憤の情を洩せる歌の中に、勝れたる佳什の多きも、畢竟誠より出たる歌なればなり。

平野國臣、伴林光平、櫻東雄の如きは單に歌人として見るも尙立派にして價値ある人々なり。

婦女子の間にも皇國の危急を思ふて國事に奔走せる人尠からず。前に本誌に述べたる贈正五位野村望東尼の如きは、女の勤王家として知られたるも、歌人としても蓮月式部等より傑れたる程にして、尤に德川時代第一流の閨秀歌人と稱するを得。其他江戸の儒者大橋訥庵の妻にて夢路日記を著せる大橋卷子、水戸の農家に人となり、皇國の爲に幾多の辛慘を粘めし黒澤時子の如きも亦、傑れたる歌よみなりき。

今日話さんとするは、信濃の松尾多勢子の事どもなり。刀自は文化八年五月信濃國下伊那郡山本村に生れて、幼きより歌物語歴史類を好みて讀みしが、片田舍なれば就くべき師もなく、唯父の敎を受け居し程に、十九才にして伴野村の松尾淳齋の許に嫁ぎ、よく家事に盡しゝかば、家は常に春の如く舅姑にも能く仕へ、僕婢に對してもよき女主人なりしなり。

其頃遠州に石川依平といふ本居派の歌人ありしかば、多勢子は其人の許へ手紙を送りて歌の添刪を請けたり。日頃人の妻としての一通りの身嗜みはしたれども其他のついゑを除きては書籍を購ひてひたすら耽讀を事とせしが、幕末の世の亂れを見るに忍びず、外國船の來りしを聞きては

しつみつるその神風もこりすまに
　またもよするか沖津しらなみ

などいふ歌をよみて御國の爲に盡したしと思ひ、病弱なる良人の許可を得て京都に上る。その途すがら長良川にて

ながらへてまたも越えなむ長良川
　濁らぬ水にこゝろまかせて

文久二年九月京へ着きて後は、交りを志士に結びてその策略を援け、女の身の都合よきに乘じて、女官の宇郷の局に好みありしを利用し、宮中に參りて密かに下情を奏し、志士の志を疏通するに與りて大に力ありたり。

其在京の間には或は幕府の捕手に捕はれんとし、凡ての書類を燒きて自殺と覺悟せしが、品川彌二郎子の使に止められし事、又賀茂の御幸を拜しては泣きて喜びし等種々の逸話を有す。

斯かる間に良夫の病氣といふ報知を得て急ぎ郷に歸りしが、歸國の後も飯田藩と水戸の浪士武田耕雲齋との間の調和を始め幾多の國事に盡瘁せしが、遂に王政維新に逢ひ大に喜びそれより家政を整へんとせり。

之より前、刀自は女の身として家を外に國事に盡し、自分のみならず子及孫迄も皆國事に奔走せる爲、大に家產を失ひしを以て、其後ひたすら家政整理に心を用ひ、暇の折々には歌をよみて慰めたり。

然るに明治二十五年多勢子の國事に盡瘁せることを皇后陛下の叡聞に達し白縮緬一疋を賜ひしかば、老の眼に感涙を浮べ

いやたかき雲井までとは思ひきや
　なすことかたきたわやめにして

斯くて明治廿七年四月八十四才にして遂に世を去れり。卅六年十一月特に正五位を贈られたり。美しき天龍川の邊り天そそる風越の峯に向へる丘の上の樹立の下に、嚴しき石碑あり。其處に前半世を國事に盡し、後の半世を家事に勉めたる多勢子は永への眠りに就るなり。

その折々の歌に

大木竹の片山里の朝日影
　さすかにけふはかすみそめけり

うちわたす雨の中川ほのほのと
　浪よりかすむ春のあけほの

かりこほすいなほにかゝる夕しぐれ
　民のてわざのいとまなのよや

あしびきの山の端しろき白雪に
　凍りてたてる峯の松が枝

世のなかの谷間かくれの埋れ木は
　春にあふとも花は匂はじ

その他傑れたる歌多かれどさまではとて除きつ。右の歌を誦せば、雄々しき中にも女らしき情を含める刀自の俤は正目に見るが如かるべし。谷間かくれの埋れ木と歌へど、埋れ木にはあらで大御代の限なき光に照されたる多勢子の如きは、誠に尊ぶべき婦人なり。

その國事に奔走の如きは太平の今の世の婦人の學ぶべき事にはあらねど、刀自の如き心掛けをもて皇國の爲に盡さんと思はゞ、慈善にもあれ、敎育にもあれ、女の盡すべき道はいとさわならん。斯く心掛けてこそ折にふれて詠み出づる歌も、生氣あるべく自然傑き作をも得らるるなり。

（談話筆記）

閨秀百佳選

（其五）　佐々木雪子夫人作　古川よね子書

（其六）　佐々木雪子夫人作　金原直子書

折にふれて

三五　中島千萬子

去年の秋の末つかた花ばたけの位地をかえばやとて、八千草の根をえりわけ假に移し置き、更に代ろをつくりて其たねまきせましと取かゝりつるに、をりふしさはりのありて心にまかせず打過ぎ、程經てこれを栽ゑ付け、または種おろしなどせしに、此頃他の園には麗はしく咲きみつ花、ありけるに、此方は冬枯れの千くさにあらなくも、哀ちいさき草々に時や來ぬらむとかたばかりの若目やつほみを持ちぬるさまの淋しく、音づれ給ふ友とちにおこたりのさまを見せまゐらすることの心くるしさよ。おもふに子らの敎養のみちも、草花の培養にことならじ。時おくれしとて、いかに其道をいそくともおよふまし。又時せつあまりに早すぎ或は衣のあつくうすきこと、養ひの料の過不及などをさなき子を持てる父母のふかき心づくしなれどもかへつてあだとやならん。唯々自然の期せつにしたがひ、其ほど〳〵に敎育しなばいとめでたくえまへる花のごとく世にめでらるゝ幸やえむ。あはれ、ゆるがせならざるは季せつにぞありける。

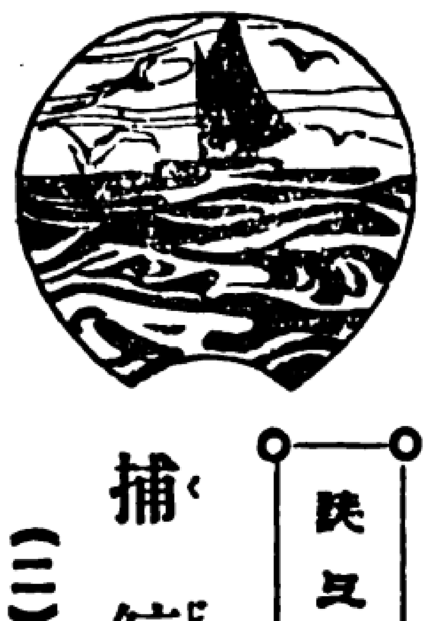
めりんす友染の形がよくて大安賣するおなじみの日本橋區人形町通り赤のれん

おばなや本店

電話浪花四三四五番

四季流行反物　めりんす友染……大安賣……めりんす友染はおばなや特有の新形たへず取揃へ又反物類は地織二子江戸ッ子好みの粋さな新柄いろいろ出來尙めりんす及び反物類の格安物は例の通り御座候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



侠女の選擇

捕鯨船 (三)

▲甲板と望樓との問答

「ジョスエル君、未だ見えぬか。」と、太く力ある聲が、忽然として甲板から響いた。

聲の主は船長のヰント、ゴメリー。産地はニウヨーク。年齢は四十七八歳。筋骨逞しく、冒すべからざる威嚴を具へ、太き八字髭を生して居る。

「船長殿、未だ見へませぬ。」

望遠鏡を眼に推し當てたまゝ、一等運轉手のジョスエルは望樓の上から、船長の問に應へたのであつた。

「見へぬか。」

と問ひ

「見へぬ。」

と答へた、その問答の目的物は(鯨である)

斯の如く船長は――時々刻々甲板の上から、望樓の上なる一等運轉手に向つて鯨の消息を尋ねるのである。斯く同じやうな問答を時々刻々繰り返して居るうちに、何時かは望樓の上なる一等運轉手から

「鯨汐吹く」

の善き消息を聞くことがあらうと、船長は、そればかりを待ち望んで居るのであつた。

否、これを待ち望んで居るものは、啻に船長ばかりては無い。運轉手も、獵夫も水手も等しくそれを待ち望んで居るのである。否、啻に待ち望んで居るばかりては無い。彼等は各自に分合の胸算をして居るのである。

▲分合は幾許づゝ?

スパーンホエール?一頭の價値は八萬弗!船長は早くも十分一の分合を思ひ、八千弗の富を夢みて居るのである。

運轉手は二十分一の分合を思ひ、四千弗の富を夢みて居るのである。水手?彼等は二百分一の分合を思ひ四百弗の富を夢みて居る。それのみか、第一着に鯨を見出したもの、鯨を致止めたものには、船長から、それ〳〵特別の賞與がある。この分合この賞與の爲めばかりに、船員は孰れも血眼になつて居ると云つても決して不當ではあるまいと思ふ。

打ら見たところ、いかにも勇しく趣味深げなる捕鯨船の生活。――その蔭には、醜くき功名、富貴の念が潜んて居るとても、それは彼等の心の眞の一面に過ぎぬ。即ち他の一面に於ては、勇しく男らしい思念の充ち滿ちて居るのは勿論であつて、斯る元氣があればこそ、彼等は僅かに三百五十噸の帆前船に安んじて其の身を托し、而も時來れば「海の王」たる巨大の鯨に立ち向ふことを敢えてするのである。

此意味に於て、捕鯨船の生活は、いかにも勇しく趣味深きものと云ふべく、捕鯨船に乘り組める彼等船員は、孰れも類稀なる快男子と云はねばならぬ。ましてや纎弱き女の身にして、唯だ一人、此等の快男子とゝもに捕鯨船の生活を敢えてするに至つては、殆んど神秘の擧動と云ふべきてはあるまいか。

その女性とは……?それは、次號に紹介しやう。

豫告

泰西家庭訓

未だ新舊思想の過渡時代に在る廿世紀の日本の家庭に於て最も憂ふべきは泰西人の家庭觀なるものが我國人に一知半解さるゝに在り。近日の誌上より連續掲載さるべき本篇は一は以て泰西家庭事情を審かにし、一は以て現代の憂の幾分を除くに足んか

豫告

家政

支那料理

成女學校講師　津川千代子

燒揚茄子

▲材料　一、茄子、一、豚肉、一、生姜、一、葱、一、醬油、一、胡椒、一、鹽、一、鷄卵、一、胡麻油、一、メリケン粉、一、フード又はヘット

まづ豚肉五十目程を挽肉にしますか、又は極細かにたたいて、生姜一トかけ、葱一本程をいづれも細かくみじんに刻んで肉の中に入れ、胡麻の油をほんの少しおとし入れ、醬油と胡椒とて味をつけてよくかきまぜておきます。

別に鷄卵二個を割り、その中にメリケン粉を少しづつ入れてねり、鹽少し許り入れて日本のてんぷらのころも位のかたさにねつておきます。

茄子の皮をむき、一分か一分五厘位の厚さに輪切りに下まで切りはなさぬやうに二分程つけおき、二度めに切る時には厚さは前と同じにして今度は切りはなしてしまひます。かういふに幾つも切つておいて、その切りはなさなかつた處に、前に味をつけておいた豚肉をつめて、前のメリケン粉のころもの中に入れて、ころもをよくつけるやうにして、豚の油のよく充分に煮立つた處に入れて揚げます。豚の油のない時には、牛脂、又は胡麻の油でもよろしうございます。

茄子の皮をむきましてからは、手早くしませんとあくのために茄子が黑くなつていけませんから、澤山の時にはむいて直に水の中に入れておき、肉を入れる時に水けを布巾でふいていたします。併しあまり長く水につけておきますと揚げる時にはねていけませんからなるべくは手早くして直に揚げた方がよいのであります。

露の榮 (四)

村山貞子

「側を向くてないぞ、落ちるぞ。」と女房さんは子供を制して居る、彼は子供の心を知つて不憫に思ひ、奈何かして子供の心を民子の方から放さうとして居るが、親心に變はなく自分も民子の方に氣が取られて居る。

「まあ何てお美しんだらう。」と目に淚を溜めて獨語を言ふ。

「おかみさん何處迄御出なさるの?」

「私ですか。靑山迄行きますよ。まあおきれいなお孃樣ですよ。」

「なんのお前さん、きれい處ぢやありませんよ。」

「いゝえ、もう御立派な御孃樣で御ざいます、私も元からこんなでも御座いませんでしたが三年前から爺が盲目になりまして自分の事が漸くなので、私がかうして稼いて居りますが親が見たら何と云ひましやう、此子は生れ落ると譯があつて貰つた兒ですが、此頃此方がおちぶれたのに、先でも晴れて家に入れられるやうになつたので、度々迎ひも參ります、私も又是の爲と思つて二度歸しましたが、子供といふ者は正直なもので、汚なくつても矢張り私が好いと見えまして直ぐに歸つて了ひます、時々は我儘を申ますので「あつちの家へ歸すよ、」と申ますと柔しくなるのもいぢらしう御座います、夫やずゐぶんこんな事をして居りますと言ふに言はれぬ艱い事も御座いますが、此兒の心を思ひますと又辛防も致します、お屋敷なんぞの御女中方には、おまへさん亭主と別れたら可いだらうに子供も返したら樂になるだらう。」と仰る方も御座いますが「いくらこんな姿はして居ても心の中はきれいなもの、そんな心は露程もない」と肚の裡て言つてやります。」

眞夏が來ました汗母が生たり日に燒けたり皮膚に故障の起り易い氣節となりました併し社會の進步は如此故障を心配するに及ばぬ樣になりました其は乳白化粧水「レート」の發明です之を使へば夏でも夏の故障が起らず益美しい皮膚となる事驚く程で醫藥の博士も賞讚される通り皮膚を內部から美しくする上に床しい香氣は香水の用も致すからです

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スミレ香水　東京濱町　平尾分店

雜報

世界書旅行

如何に本誌の編輯者が本誌をして日に新たにして日にまた新たならしめんと苦心慘憺せるかは愛讀諸姉の諒とせらるゝ處なるべし。編輯者は爰にまた三伏の暑さに疲るゝ人々の氣を新たにせんの新計畫として次號以後本誌紙上特に『世界書旅行』の一欄を設け繪畫を主として歐山米水扨ては東洋、南洋の奇風俗等に至るまで輕快なる文字に依りて之を紹介せんとす若し夫れ凉風心を新たにするの新偉觀に至つては本誌の特色として次號以後の紙上に活躍たらんか。

失明軍人講習卒業

去卅七八年戰役に出征戰傷失明せる軍人中有志者の爲め軍人後援會が東京盲啞學校へ依賴して起せる失明軍人講習會は去月廿六日午前九時卒業式を擧行せり校長小西信八氏卒業者に向ひ「諸君は未曾有の大戰に參加偉功を奏せる勇者にして負傷失明の爲本校に來り學校を修めし智者たり而して諸君が勇者たり智者たるは余の既に目擊せる處なるが今や其得たる技を以て將來仁者たらんとする人なり、仁者たる點に至つては聊か掛念せざるを得ず、諸君が鄕里に歸られ需に應じて鍼按術を施さるゝ際には已れの戰功者たることを忘れて懇切に盡し殊に貧困者に對しては施療に努められたし又無學無智の徒は足踩め杯と無禮の言を吐くこともあるべきも、かゝる時は飽迄も溫和の態度を以て其不心得を諭されたし」と訓戒的告辭を與へし後「小筒とりて仇うちし手の功をばいや輝かせ鍼の光りに」と云ふ國風一首と「一誠壓萬碍」の一句を贈り、會長石黑男爵も告辭として　聖恩の如何に失明軍人に豐かなるかを述べ、且つ鄕等の他の盲人よりも一段の優遇を受くるは特に失明軍人なるが故なれば今後も長へに各失明軍人たることを忘るゝことなくして其職務を勸められたしと述べ、陸軍々樂隊吹奏の間に失明軍人十四名の總代吉田悅次郎氏並に砲兵工廠職工一名に對し證書を授與し小松原文相、寺內陸相代理石本陸軍次官の祝辭あり後吉田氏は點字を以て綴りし答辭を述べ終に「常闇の身と思ひきや大御代のみ光に逍わくるかな」と詠じ又卒業者中山重一氏も「月も日もかよはぬ窓にこつほしの高き光りにふみをよむかな」と詠じて式を了り夫れより音樂科生徒の唱曲『布晒し』及軍樂『黃金の賞牌』『名譽の勳章』を演じ一同散會せしは正午なりき附て云ふ當日の軍樂隊は特に陸軍大臣の寄附せるものにして尙愛國婦人會を代表して棚橋評議員は各失明軍人歸鄕の砌の旅情を慰むる爲め金七十五圓を寄贈せり

失明軍人よりの感謝狀

前項記載せるが如く愛國婦人會より今回失明軍人講習會の課業務を卒へたるもの、鄕里に歸るに就き其の旅情を慰さめん爲め金員を寄贈せし挨拶として岩倉愛國婦人會々長宛左の如く點字にて禮狀ありき

明治四十一年七月二十七日　失明軍人講習員　一同

愛國婦人會
會長　岩倉久子殿

謹啓生等本校講習會中は度々御厚情を蒙り尙又昨日卒業式に當り重ね〴〵御厚き思召しに接り難有一同誠に感鳴の至りに絕えず失禮ながら書狀を以て此段及御禮候也　頓首

東鄕大將邸御常用
日本一の
オペラ香水
發賣元　東京日本橋區米澤町　鳳舞園

奥村五百子詳傳盡きんとす

嚮きに愛國婦人會より發行せし奥村五百子詳傳は非常に好評を博し初版既に盡きんとする狀況に在れば有志の方々は此の際至急購買方を申込まるゝにあらざれば或は申込みに應じ兼ぬる恐れあるべし

避暑地の種々

客月中日本新聞社にて避暑地として最も勝れたる土地の投票を募集したるに、大磯、輕井澤、天龍峽、伊東、修善寺の各地當選し、安房の小湊、伊豆の熱海、日向の靑島、相模の湯河原、尾張の大野、相模の鎌倉等之に次ぎたりと。時節柄避暑者の參考にもなるべし。

米國女學生團來朝

先般本誌にも報ぜる如く米國ロスアンゼルス市ミロン會社主催の同國女學生日本旅行團は、豫定の如く客月廿八日橫濱へ到着せり。一行は前記ロスアンゼルス市の高等女學校生徒を始め東部地方各女子大學生徒等六十餘名凡て二十歲前後の無邪氣なる少女にして之に十名の教師附添來る筈なりしが其は單に風說に止まり實際來りたるはミスローラアスコエル、エリサベスホールマン、エーシーブローマン、ウローウヤテートン、マーベルブラウン、オーガストヒーウヨンの六孃にして監督兼教師のミスターローマン氏共七名なりき。一行は三十日間滯在の上、橫濱、東京、日光、箱根、靜岡、名古屋、京都、大阪、神戶、宮島の十個處を見物する由、之が爲東京其他各地の女學校及其關係者は何れも種々歡迎の計畫ありといふ。

著述家理想の妻

國書解題の著述者として知られたる佐村八郞氏の夫人芳越子氏は懷て產後の肥立ち惡しく根津眞泉病院に入院加養中の處、効なくして遂に客月中黃泉の人となりし由、夫人は本鄕區駒込巢鴨町字傳中日枝神社宮大江發人氏の長女にて、佐村氏と結婚せしは今より十二年前の事にて桃源春深き二十二歲當時既に渡邊女學校の卒業證書と、東京府檢定の小學校教員免許狀とを有したりと。佐村氏は城北中學校及東京師範等に教鞭を執る傍ら專ら『國書解題』の編纂に身を委ねたるが、該書の編纂中夫人が克く仕へ克く扶けて搜索に淨書に校正に將た材料の蒐集に幾多の苦心を嘗で良人八郞氏の事業を扶けたることは該書刊行の際佐村氏が夫人の功を頌して、著書の卷末に自書の上著書と共に夫人に贈りたる書及佐村氏と交り深き、芳賀博士並同夫人其他の親戚舊故の證する處なるが、今その逸話を揭げて敬すべき賢夫人の俤を偲ばんか。

一、良人の著作に從事して以來、必要止むべからざる場合の外、嘗て一度も外出したる事なし、

一、結婚以來十年一日の如く良人に事へて、能く貞順にして只の一度も言に逆へし事なし、

一、少し散步にでも往つて來てはどうか、と良人が奬むれば、留守中に子供が泣きてもすれば心配ですから……それよりか其の間に原稿でも書きませう。これ常に夫人が良人に對する言葉なりき。

一、斯の如く家庭に著作の助手として、忙中にあり乍ら中等教員の國語と裁縫との文部省檢定免許狀を得たり。

一、十年前に結婚せる當時と、十年後の今日逝去に至る迄、良人に對する態度と言語の更に變りなかりし事等その一斑に過ぎざれとも、夫人が著述家の妻として終始克く良人に仕へ、良人をして專心事業に從事するを得せしめ、遂に國文學史上不滅の著作を完成せしめたる事誠に當今稀に見るの賢夫人といふべし。

燒餅盛衰論

先般神田橋外和强樂堂に於て山路愛山氏の談話されたる同論は奇拔にして面白ければ報ぜん。燒餅はある程度までは女の權利である。昔の昔に老いて妻の功を知るとあつて若い時に嫉妬に散々妬かれた難有味が老後になつて滋み〴〵と應へたものと見える。源氏物語には矢鱈に漢語を操り廻すハイカラ女なぞがあつて感心しないが又恐ろしく燒餅性の女もあり。大鏡には年寄りの頗る拙い女が、若い美男子を亭主に持つ問題もある。總じて上方の女は愛嬌に一寸燒いて見せるに過ぎないが、關東の方では女の燒餅は凄まじい勢で、どうあつても不品行の男を遣り込めなくては承知しない。東鑑てふ本は一名を平政子燒餅史と云つたやうなものである。太平記にも關東の女は燒餅深くて强いと書いてある。斯樣な燒餅屋の總本家たる關東は遂には一躍して京の天下を蹴散して仕舞つて。西鶴のものに江戶の女は體が頑固で燒餅で迚も男の手に負へない慰みものにはならないとあるが、その時までは三河武士の意氣猶衰へなかつたのである。所がだん〴〵華やかな京女の眞似をするやうになつて關東の覇府は一朝にして倒れた。上下三千載の史を讀んで、燒餅の最も盛んな時代は士氣の最も振つた時代である。

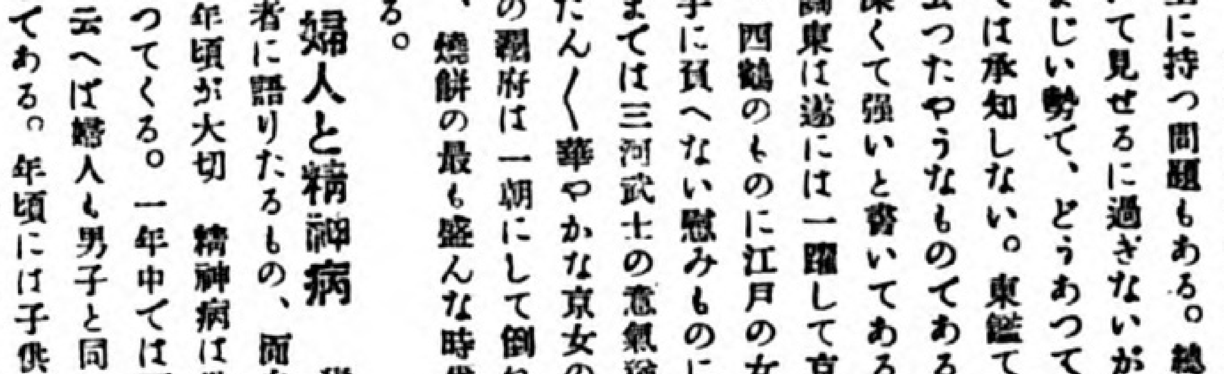
婦人と精神病

巢鴨病院中村醫學士の某新聞記者に語りたるもの、面白ければ左に採錄す。

▲年頃が大切　精神病は世が文明になるにつれて多くなつてくる。一年中では夏が一番多い。一生涯を通じて云へば婦人も男子と同じ樣に、年頃のものが多いやうである。年頃には子供の生活からがらつと調子が變つていろ〳〵な希望とか想像とかでまだ固まらない腦を攪亂されるのだから、一寸の間に丸で生れ變つたやうな白痴になるものもあれば、神經質の諸病もこの期に發することが尠くないそれから▲遺傳性　のものは例へば飮酒、自殺、犯罪、天才の後に生れたものに殊に多いのである。モーレルの說に依ると初代に神經質のものは次の代に背德狂になりその次の代に『腦溢血で死ぬものが出來たりする、それから自殺、白痴、不具と代を追ふて遂に滅亡することになる。父母どちらからの遺傳が多いかと云へば▲母方に多い　やうである子供が母に似て父に似ないものは餘程注意しないといけない。父母又は祖父母のどちらにも似てないものは更に危險である。リハーツの說では(一)母に似たる娘(二)母に似たる息子(三)父に似たる息子(四)父に似たる娘といふ順序に危險が薄らいで行く▲精神病の豫防　遺傳性の精神病を豫防するには母の乳を飮ましてはいけない、皮膚の衛生に心を用ゐて冷水は最も宜しい、空氣と日光に克く浴注意して學校へはなるべく晚く出すのがよからう睡眠の不足はよくないことです。

美顔料　パール　東京濱町　平尾分店

夏季の帶締

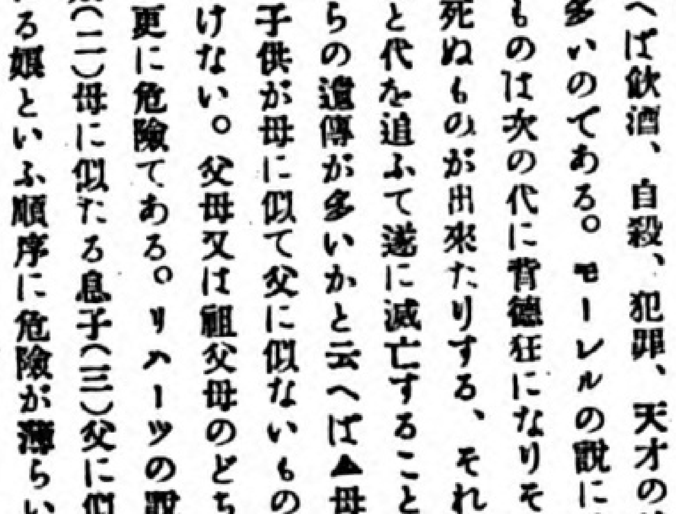


上圖新形帶締めは孰れも第一流の名匠が彫刻せし品に有之此の外意匠彫刻とも種々時好に適し候品取揃へ置き候間御一覽給り度候

1 十八金松竹梅の透し彫……十七圓ゟ

2 十八金ヒスイ應用水に都鳥の圖……十五圓ゟ

夏季の指環



1 十八金ダイヤモンド入　金三百五十圓

2 十八金ルビー一口眞珠入　金十一圓五十錢ゟ

3 十八金月に厂の圖彫刻　金二十六圓九十錢

4 十八金ヒスイ應用瓢の飾り　金三圓八拾錢ゟ

右は必ずしも斯形のみには無之候得共目下賣行よろしき品に有之候間御用命給り度御希上候

東京日本橋人形町通り　澤田治助　電話浪花二五六九番　振替貯金一一二七二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌 —夏季雜題— 佐々木信綱選評

天

家七戸山の温泉の湯煙の白きが中に灯のおぼろなる　長崎　松尾れき子

評。暑さ堪へかたき野道山道を馬車にゆられ來て夕もやの中に湯の山の燈火の淡きを見たらむ心地たとへむ方なかるべし

地

天地も更に目さめし心地してすゝろ嬉しき夏の朝かな　下野　黒須菊子

評。上の句の新しきを採る

人

つとひつる友はかへりて夏の夜の月しつかなる湖そひの家　福島　爲田よしの

評。さる湖畔の家あるじこそいともうらやましけれ

秀逸

美しき月にまかれてわが胸のそのまゝ晴れて消えんとそ思ふ　下野　黒須菊子

二人して摘みて流しゝ花の上に眠る胡蝶よなに夢むらむ　東京　吾妻初子

もの思ふ百合を手をりし少女子の袖吹きにけり夕くれのかせ　青森　久保石子

山のゐのしみつをたつれきて見ればむすはぬ袖も涼しかりけり　岡山　八木清子

夏草のしげみの中にゆかしくも一本咲けるひめゆりの花　豊橋　平松いと子

稚子かうちはのかれて窓ちかく光りてらしてとふ螢かな　青森　田島正子

長良川かじかしはなく夕月夜橋の上すゞしゆかたふく風　美濃　傍島敏子

夕すゝみそゝろあるきの道のへにかけもさやけくほたるとふなり　横濱　鈴木まつ子

夏やすみかへりくる子の笑顔さへ思ひうかへてまつそたのしき　三河　山内經子

百合の香のほのせまりくる温泉の濱を君と相よる朝心地かな　岩代　長谷川吉野

なくせみのこゑの林となりにけりかなたの里の杉の一むら　山口　末田竹子

よとみなき水にあつさも流れけむ心涼しき夏の川つら

ほとゝぎすちきらぬものをまたるゝは月の出くるたそかれの空　神奈川　足立原とく子

かやりたくけふりもたえて賤が家をさひしくてらす夏の夜の月　越後　阿部秀子

甲

あたゝかき露のめくみにうるほひて今朝咲きそめし垣の朝顔　大分　桂木清閑女

水かれし小堀の中にせりの花見る人なしにやせやせ咲くよ　岩代　横山橘子

夏やすみ子らのゑかほをゆめみつゝかへりまたるゝ昨日けふかな　岐阜　小島駒子

心なき賤かまくさの籠の中にかりこめられしなでしこの花　山口　末田良節子

水きよき夏の小川の森かけに笹舟うけて遊ぶ幼子　岡山　西村清子

鳴神につれてすきゆくゆふたちのあとにほのめく山のはの月　堺市　金田久子

友のゝりし舟見送りていつまでも傘さして立つ濱の五月雨　鹿兒島　松村すか子

あつさをはよそのあはれとなしはてゝ桁にかゝるなつの夜の月　田中久惠

磯つたひ松こよろぎの影のもと我も拾はむ夏わすれ貝　三重　西山ひさゑ

幼子のやうやくいれし奥の間に聲もすゝしくかしかなくなり　愛知　湯淺とよ子

なかれゆくいさゝ小川のいさゝかもふちせにみつはとまらさりけり　東京　鈴木秋子

わか袂に吹く心地して涼風の青葉にそよく夏の夕くれ　函館　安藤喜美子

うゑしまゝつくろはぬ庭の朝顔にけさあけかぬる柴のしほり戸　青森　三上八重子

讀經の聲もしつけき山寺のみ池に清き白蓮の花　岡山　山崎露子

晝のまの暑さもしはし忘れつゝやぬちたのしく夕涼みする　青森　大橋八佐子

青田吹く夕の風の心あらはばらの香おくれわか友のもと　長野　植原千代子

風薫る青葉の寺を涼しくも白衣のまゝに法の師いてぬ　鹿兒島　藤野錠子

乙

みとり葉はおのつからなる日かさにてあつさをよそにふむ山路哉　岩代　横山橘子

なる神の音もいとはて田草とる翁や國のたからなるらん　岡山　清水梅子

なくさむる菅の葉つきてひたすらに君かみいつをれかふこゝろれ　下野　田代房子

注意　乙以下の應募詠草は誌面の都合にて掲載を見合す事とせり。

俳句 —夏季雜題— 内藤鳴雪選評

天

名月や山を離るゝ二三尺　備後　世應龜子

評、暇ぐは先づせ

地

繭を煮る手元はくらし宵月夜　駿河　賤の家

評、行水の閑もなき身の

人

夏木立象を指揮する土人哉　三重　西山數子

評、天幕には物煮る烟

佳作

獨り居の跡に淋しき水鷄哉　下野　黒須菊子

露寒し人僅かなる野邊送り　東京　吾妻初子

笛の音遠き小里や夏の月　岡山　坂田元子

夕顔の花の下なり小料理屋　東京　小山季茂

薫風や木蔭にころり肱枕　下野　黒須輝子

夕立の晴れて賑し京の町　東京　武田鶴子

手を引きて女渡るや夏の川　京橋　荻城茂子

瀧殿やしぶきにぬるゝ[illegible]　三重　西山ひさゑ

夏草を束ねて戻る少女哉　東京　栗山てい子

白菊を市に買ふなり雨の中　岡山　西村てふ子

三日月や夕顔棚の影淡く　鹿兒島　藤野錠子

涼しきや沖の欵乃濱の風　長門　鶴田其子

山一つ又かさなるや雲の峯　山形　阿部さゐ子

腰掛けば瀧のしぶきに濡れて居る　東京　彦坂たき子

旅笠の一と群ゆくや夏の山　東京　中山由子

餞したる南大門の夏の月　東京　保坂芳子

子供等の集ひてむすぶ清水哉　岡山　清水梅子

涼しさや小川を渡る笛の音　福島　横山橘子

雨の日や鳴かでさひしき蟬の聲　仝人

息で蝶の醒めてひとりや明易き　大阪　樋口榮子

川魚の料理の船や夏の月　佐賀　小林龜子

驟りにも水くむ音や夏の月　田中久惠

日盛や庭ぶつつかる硝子窓　山口　末田竹子

夏の川魚つる人の笠太し　京都　支葉ふき子

ほろ酔の女美し夏座敷　青森　竹林秋子

夏の旅峠越え來て清水哉　東京　伊矢野孝子

遣水に夕月映る茂りかな　東京　中山初子

物賣の涼しくよぶや初なすび　京都　中川たか子

讀者欄

■記者様御きげんよう、私は歌や俳句の投稿規則を存じませんから、一度くわしく誌上で御敎へ下さいませどうぞ願ひます(齋田とめ子)

▲別に六ケ敷ことはありません。左の通りに御書きなされば、それで結構です(編輯小僧)

△用紙は端書又は端書と同じ大きさ。△文字は下手でも宜いから丁寧に階書て△住所氏名は明瞭に△和歌なら和歌、俳句なら俳句と、判り易い所に原稿の種類を明記して△繪端書交換の希望者は美しい繪端書を用ひて下されば宜しう御座います

■私は今年四月より本誌愛讀者となりたるものなれば末田氏の和歌は曾て讀まざる處なり。氏の昨年の作を二字改めたりとは思ひも寄らざる濡衣にこそ、記者より宜しく末田氏へ御申傳へ下されたく、就ては末田氏に一首を(小山季茂)

夕まくれひがみ心の友の君すゞしき風に心清めよ

■誌上の花たる百佳選の玉詠惜らくは寫眞版の不明瞭なることよ、希くは詠歌を讀者に知らしむる方法はなきものか(藤野錠子)

▲御注意有がたう御座います。ではこれから讀者欄で御披露致しませう。そして今迄のを始から左に揭げて置ますから御覧下さい(係)

さきつゝく花のこずゑのひまもりてかげさへにほふ春の夜の月　(其一)

難波津をならひそめたるむかしよりかはらぬ友は硯なりけり　(其二)

ひとこゝろきよくもたなんなら山のこのてかしはのうらおもてなく　(其三)

あさなきにいわしあみひくあま人のよひこゑたかしかすむ海つら　(其四)

ふじ筑波ひとつ霞にたちこめてはるのなかめのひろくもあるかな　(其五)

れふる子の夢さまさしと心して花見衣ぬふ春の宵かな　(其六)

■記者様新派の歌はいけませんか(露の下びと)

▲新體詩として御送りあれば、新體詩欄にのせませう。そして澤山になつたら別欄を作る事にします(記者)

■愛國婦人百四十六號は一回とびましたね、不思議ですわ、どういふ御都合ですか伺ひます(竹入男子)

▲百四十七號の誌上に御斷り致して置ました通り、百四十六號は本誌發展の都合上、擴張用として臨時増刊を致しまして他へ送りましたのです。一般の愛讀諸姉には必要のない號ですから差上ませんでした(發送掛)

■懸賞文苑に當選致し候處早速美事なる賞品御送り下され難有御禮申上候かしこ(飛田わさ、松田眞子、長谷川よしの、瀬高やす子、清水まつ、名取正代子、各通)

●●耳鼻咽喉病
美形隆鼻術
一回ノ注射有効確實(施術午後一時後)
九段阪下御嶽敎會ノ裏通
大學病院辭職　和田醫院

腦病　精神病　神經病
東京府下○龜戸町かめゐど停車場ヨリ約十丁
加命堂腦病院
電話浪花二五五三
院長　奈良林淺次郎

院長　醫學博士　榊順次郎　婦人科産科每日午前診察
副　醫學士　久保徳太郎　婦人科的外科 外國留學中
副　醫學士　田代謹一　婦人生殖器病 泌尿器病及内科
●施診火木土自午後一時至二時　科一般火木土午後診察
婦人科産科　榊病院
麹町區三番町三三(電話番町三九五)

小兒科專門
腺病　體質(瘰癧症)
小兒　胃腸障害(脾疳)
腹膜炎(脹滿)
小兒皮膚病
ドクトル メヂチーネ　長井岩雄
東京日本橋數寄屋町(呉服橋外)電本百八十

内科專門
杏雲堂醫院
神田區駿河臺　電本一六六九
院長醫學博士　佐々木政吉

東洋内科醫院
院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前
窮者施診火木前入院診斷隨時應需松田、林、兩副長は目下當院に在勤
電本八八八(病院用)八九八(私宅用)
東京神田區駿河臺鈴木町二(御茶水橋畔)

南湖院
院長　醫學士　高田畊安
神奈川縣高座郡茅ケ崎村濱(停車場所在)
河野、中村、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後○同時窮者施診
副長診察月、火、水、木、金、土、午前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

短文

一等

月 東京 ゆかり女

十七日の月は今合歡木を離れて、竹の葉の影を椽の上に撮す、此處に花蓙二枚敷て妹と涼む、風鈴が頻に鳴る、笹の影が椽の上に戰ぐ、と妹は手の團扇を膝に「十八日の月は？」「居待月といふの、それはお月樣は一寸出て來ないて、お座敷てお茶ても飮むて居ると出てくるからヨ：十九日の月は仲々出て來ないてネお寢間衣を着て休んてても居るとお顏を出すが何といふてせう!?」「ては寢間衣の月？」ホ、との笑聲母樣が何時か後に：

妾の願

成らう事なら夏の風になりたい、朝夕より眞晝を少し強く吹きたい、そして割棟長家を吹いてやりたい、とり分け赤子を扇いてやりたい、夏野に茂る深草を一時に吹き靡かせて見たい、流行の逆風を鎮めて靑柳をそよ〳〵吹きたい、そして風鈴をひねもす鳴らして居たい。

評 ついてに選者をも吹いて戴きたい。

晝

晝は極度に烈しい新しい天幕は目映い程白い、大工は其中に大字形に晝寢して居るのてあらう音もしない、天幕の傍は土が赤い。鉋屑から燃えるやうに炎陽が立つ、周圍に草が靑い。仕事場を遠かるに隨て夏草は益々茂る。草からは靑い光線が來る、土からのは赤い、赤い光線は熱苦しいが靑いのはよい、が天幕の白い光線が直ぐ靑い光を消して仕舞つて目が痛む。風は少しもない、世間の人は皆晝寢して居るのてせうか。

評 此の內、「晝」最も傑れたり。

二等

三河 山內經子

夏やすみ子等引つれてなつかしき故鄕の祖母君母君訪はむゆるの得し昨日今日、何となう心うきたちてふしどに入りし後も何かたらはんなど一すじに思ひうかべて樂しき夢路に入りぬ。同じ思ひにまちまさん祖母君も、母君もはたいとしき妹も。

評 情に於て勝ちたる文、

三等

岩代 長谷川吉野

ほとゝぎすはほんとうにいやな鳥だわ、久しぶりで東京から貞子さんが被入したから、是非きかしてあげたいと思つて、昨夕夜一夜待つて居たのに、とう〳〵啼きもしないて、今夜のやうな一人ぼつちて、おまけにこんな雨の降る淋しい晩にしつきしなしに啼くなんて、一體世の中つてものは皆からしたものかしら。

評 餘りあなたが我もの顏に貞子さんに自慢したんて、時鳥が一寸意地惡をやつたんてせう。

佳作

折りにふれて 磐城 伏島たき子

けふは朝からせつせと働いた故か、思つたよりも早く仕事が片ついたので、心地よい夕風に、裾や袂を吹きなびかせ乍ら日ぐらしの鳴きしきる裏庭表庭をも掃き淸めた。これからお湯にはいつて、御飯たべて、そしてさつきついた愛國婦人をよみませう。

評 そして晝の疲れてつい轉た寢をして蚊に喰はれるんてせう。

○ 東京 中隈富士子

朝夕の丹精を見せてばら一輪咲きそめぬ折しも雲の往來たゞならねば、いつそ切りて花瓶にさしてんと母上に計れば、否とよ十日の壽命を五日にちゞむるが如しと其夕ふり出したる大雨に惜ら艶麗の一佳人は其遺骸數片を地上に殘して逝けりああ人の運命われは此花の不運に泣きぬ

評 作者の俳括を喜ぶ。

蟻の行列 丹後 安久春子

端居して子供に乳を吸はせながら、ふと目に入りしは蟻の行列、幾百とも數知れず、往來するさまの面白さに集ふ先を何處なるらんと見れば、大きな石の下へと這入りぬ。さて何をかなさんとすらむ。

評 適節なれど推敲を惜みしか、口語と文章と混合したるは見よからざりき。

○ 三重 中島千萬子

十あまりの男の兒ら中田村といふ近きむらより津市に來り花や〳〵とよひあるくなりこの村の習ひとして、前日野山にて花を手折あさまたき市にひさき、此代にて學ひのしろにあつるとかや、實にうるはしきことにそありける。多くの學資を父母より受得て學ひのみちをたとり給ふ人々は花うりの花よりも深き匂ひに咲出給はんことをいのりこそすれ。

評 饑季の世にあり雖き習はしといふべし。

選外佳作

■紅芙蓉 瀬高やす子■有明 阿部さゐ子■黑須輝子■金平孝子■西山ひさえ■月笑女史■西村長子■晉妻はつ子■齋田とめ子■桂木靜閑女■武田鶴子■入木清子■濱岡忍子■うれしき文 植原千代子■藤野錠子■三上八重子■山崎露子■山德秀子■中山由子■小林龜子■外數十篇

新案特許 アンダーベルト「一名汗除帶」

御婦人方が夏となつて御困りになる事は着物や帶に汗じみの出來るとてせう其れ故弊店も何か汗おさへの工夫はないかと種々苦心の末

汗除け帶

を製作しましたこれはゴムの上を布て被ふたもので肌着上から締めますと汗を透しませんから召物に汗の滲みてる事御座りません

定價
絹製 二圓二十五錢より 二圓七十五錢迄
ケンブレツキ製 一圓三十五錢より 二圓七十五錢迄

三越、白木、大丸、松屋呉服店、大西白牡丹、神樂坂朝日堂、横濱越屋呉服店、大阪高島屋呉服店等にて販賣す

發賣元 東京新橋南金六町

振替貯金口座八〇九三番

最新理想的洗顏料

最良の最良たる洗粉は唯だ「パリー」あるのみ

あらひこ

あらひこ

有名なる呉服洋品小間物化粧品賣藥店等にて販賣

關口洋品店

電話新橋二九〇二

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スミレ香水
東京濱町　平尾分店

新體詩

夏の歌

一　　福島　横山橘子

二十重にとざす憂愁の
黒雲おほふわが魂は
いまや此世のあたゝかき
光をあふぐよしもなし。

名とよ榮とよたをやめの
きよきたからは毀たれて
あゝうつそ身の朝に夜に
悔の涙ぞ眸にあふる。

評。悽絶、又曰く悔ひたるものは許さるゝべし。

二　　駿河　河下賤江

戰の一日ははてゝ
大地は黄昏にけり
人はみな頭をたれて
疲れたる足をはやめぬ
夜の香のひしひしせまる
むしあつき都のちまた

評。夕暮の街のさま克く現れたり。

三　　讃岐　瀬高やす子

河かなた君が吹きます
尺八の音色のあやに
世のうさを暫し忘れぬ
涼み舟下る川面
波もなう月にもつれて
流れゆく涼しき風も
尺八の音色のあやも

評。涼しき歌なり、

四　　岩代　長谷川吉野子

花は土龍に語るらく我いと戀し日の御影
土龍は花に怨ずらく我いと憎し日のみかげ
光りは同じ日のみかげ戀しといふも己がため
憎しといふもおのが爲め己れをおきて外にまた
是非も利害もある世かは

評。主義派などいふも詮じつめれば大抵そんなものなり。

五　　岡山　八木清子

雨はいつしか晴れゆきて　御空にかゝる虹の橋
七つの色のうるはしく　人目を奪ふほどもなく
命はかくと消えてゆく

評。理に落ちないやうに注意して御作り下さい

六　　下野　黒須菊子

青葉しげれる夕まぐれ　北の小窓にわれたてば
眺めもひろき那須の野の　草木みどりに螢とぶ

評。仝上

七　　岡山　清水梅子

夏木立いとゞ繁りて　あたり小暗き森の蔭
標新しき奥津城に　歩み近づく少女あり
やがて白百合一本を　手向けてしばし念佛する
心やいかに地下の人

評。推敲して御出しなさい、

雜報

袋物貴金屬　人形町の澤田と云へば生粋の江戸ッ子には直ぐ夫れと分る袋物で名打ての老舗であるが實際あすこの物は幾年たつても形のくずれんのは慥かに特色であるが今度出來た「やまと」指環と云つて飾りの中に印形を隱した物や金匣にヒスイ茄て瓢をあしらつた物なぞは最近の出來てある。

アンダーベルト一名あせよけ帶　婦人小間物洋物店として貴婦人間に知らるゝ新橋關口洋品店にては盛暑婦人方が汗滲みの爲めに困難せらるゝ事を日々聞く處より何か完全なる汗除けなど種々苦心して出來上つた物が「アンダーベルト」汗除帶て既製品に優る事や數等貴婦人間に好評を博したり。

愛國叢書第一篇
女德論叢
▽六月上旬發行△
▽殘部は少部數なり△
▽定價金二拾六錢△
▽郵税金四錢△
愛國婦人發行所

外科　午後往診　夜間診療
本郷區元町一の十四（淨水地西南隅）
醫學士　三原新太郎

歐米美人の肌は艶々として美つくしきこと羽二重の如し何故に歐米の婦人は斯く美つくしきや？
常にスミス洗粉を使用するが故なり
若し未だ美人國の稱ある日本婦人中にスミス洗粉を使用せざる人ありとせば
夫は美人國の耻辱なり
何故に美人國の耻辱なる乎
常にスミス洗粉を使用せざれば到底歐米美人の如き眞の美をなす能はざればなり
定價大瓶金卅錢　小瓶金十八錢　袋入金十二錢　郵送料金十二錢　郵券注文一割增
製造元　英國倫敦　大英國帝室御用化粧品商　ローヤル化粧料發賣元　スミス化粧品會社
發賣元　東京銀座　佐々木商店　電新四七二番　振貯三二二〇番

西洋お伽　指太郎（下）（一）

青郊

此てよう／＼一晩だけ命が延びたので、皆ホッと息をつきました。婆さんは小兒等が無ひもじかろうと思つて澤山御馳走をしましたが恐くて／＼一口もたべられません、唯もうぶる／＼震へてゐるばかりです。鬼も、お酒を飲み始めましたが、大變い丶物が手に入つたので、明日の御馳走を樂しみながら、大層上機嫌て何時もより澤山酒を飲みました。

さて此鬼に七人の娘がありまして、今夜は宵から寐てゐましたが、銘々金の頭巾を着て、一つ夜具て寐て居ます。指太郎達も同じ部屋て同じ大さの夜具を延べて此中へ寐かされました。

指太郎は床へ這入つても中々寐られません。あの鬼め、キット夜半に目をさまして僕等を殺しに來るに違ない、何とかして逃げたいと、色々考へましたが、やつと計を思ひ付きました。其處て皆家中の者が寐静まつた頃、そつと起きて自分等七人の頭巾を鬼の娘に着せて、其代り娘等の金の頭巾を自分達が冠りました。

夜も更けてしん／＼となりました頃、鬼は目をさまし、宵に子供を殺し損なつたのを思ひ出し、ブイと跳び起き、例の庖丁を右手に持つて静かに子供の寝床へ來ましたが、眞つ暗て何も見へません。手探りに頭を撫てましたが頭巾の替つて居るとは少しも知らず、「あゝ之は自分の娘だイヤ大變／＼、スンデのとこに娘を殺す處であつた、アゝ、昨夜は餘ほど醉つたと見える」一人ごと云ひながら小供等の床を越へて娘の方へ行き、其處て又頭を撫て廻し、これこそ小供だと思ひ小躍して七人共一時に殺しました。

鬼は仕濟した心組て大に安心し、自分の床へ歸つて寢入りました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯机上

◎**女教員養成**　東京市神田橋外東京府教育會附屬小學校女子教員傳習所にては來る十月より新學期を開始し保姆科、准教員科、正教員科、裁縫科各八十名宛入學を許可する由同所は現司法大臣岡部子爵主として監督せらるゝものにして一般の成績宜しく卒業の上は東京府に於て無試驗檢定其他の特點ありといふ入學志望の向は郵券封入同所に照會せらるべし。

◎**三輪田女學校の增築**　麴町區四番町同校にては夏期休業中音樂修身の特別教室を增築し九月授業開始迄に落成せしむるべし

◎**韓國博覽會**　四十五年の本邦大博覽會に對する出品準備として、四十四年度に於て韓國博覽會を開く由

◎**歌人大會**　國學院大學、皇典講究所、神宮奉齋會、歌道奬勵會聯合を以て、古今の歌人千餘人の大祭を執行する事となり、十月廿五日を以て行ふ由。

販賣廣告

製作品目錄

○木綿足袋、紺白キャラコ足袋、紺瓦斯足袋、純白絹天足袋其他各種小兒胸掛(エップル)西洋前掛、シャツ類

○本品は軍人遺族及癈兵家族の製作せしものにして、精選の品質を用ひ裁縫を吟味し、廉價に販賣致候間慈善同情の各位多少に拘らず御求あらんことを乞ふ

○御一報次第定價表御送付可仕候

○十足以上の御注文は市內に限り送料を申受けず

東京麴町區九段坂下牛ヶ淵

愛國婦人會

東京支部授產場販賣部

振替口座一五一一四番

電話番町一五二〇番、一七四五番

九重編造花法

土方伯爵題辭　毛利公爵母堂、三井男爵夫人、青木子爵夫人、松村理學博士、濱視學、棚橋女史、山脇女史序　遠山女史題詠

寺西綠子著

菊判クロース金字入毎卷二尺に三尺の石版極彩色大附圖あり

全五冊

定價○松の卷附豫修法金九拾錢○梅の卷金八拾錢○櫻の卷金八拾錢　以上旣刊以下續刊

九重編造花法は從來の編物を應用して造花となすの技術にして近時女子手藝界に新に一生面を開ける優美多趣味の新造花法なり新職業なり本書は著者が生徒に教授するに方り最教材に適する內外の花卉百種を撰び其編方組立方を圖によりて詳密に說示せるものなれは手藝學校の教科用に最適當するは勿論又家庭獨習者の爲に必缺く可らざる者なり

女子手藝編物教科書

共立女子職業學校編物主任教授　豐原繁尾子先生著

和裝美本

定價金五拾五錢

郵稅金六錢

女子手藝中編物の最必要にして最實用に適するは今更贅言するの要なし本書は斯道に於て最古くより經驗を積まれ最老練にして都下に有名なる豐原先生が初學者の爲め最初編方の種類方法より進んで手袋靴下帽子シャツ其他實用品に就き最新形の編方を一々圖解に依りて詳細に就き示されたる者なれば女學校の手藝教科書に最適當なるのみならず家庭獨習用として無比の良書なり

發行所　東京京橋區築地二丁目廿一番地　**國光社**

賣捌所　東京堂、東海堂、良明堂、至誠堂、北隆館、須原屋　天章閣、春祥堂、上田屋、池田榮進館

最上醬油　キハク印

名譽大賞牌受領　於聖路易博覽會

キハク印

醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判てすどーか其あぢのよくてそして經濟てあると云ふことを御ためし願ます

釀造元　千葉縣野田町　茂木七郎右衞門

信號記(キハク)又(ハク)

東京支店　日本橋區小網町三丁目　中野長兵衞

電話浪花五七七四

婦人にして女學世界を知らざるものあらざるなり　少女にして本誌を讀まざるものあらざるなり

女學世界

八月一日發行　**第拾號**　正價廿錢　郵稅二錢　前金八冊一圓六十三錢

◎現代女界の暗流　三輪田眞佐子

◎諦める人の幸福　大町桂月

◎銷夏二十法　糸左近

◎辛苦多き妻の一日　紅淚女史

◎出京先の日記　秋雨女史

◎無用と實用　棚橋絢子

◎讀書によりて得たる利益　三宅花圃

◎卅年前のハイカラ女學生　藤波女史

◎如何なる婦人が死神を驅逐するか　中村鈴子

▼私が好んで讀みし書物　津田梅子

▼何の爲めに書物を讀むか　良子

▼米國女學生修業の道行…　進藤

▼婦人胸中の秘密……　楓一葉

▼今樣秋の草紙

▼避暑地の學問

▼虛榮心の空想

▼女子の事務員

少女世界

第三卷　**第拾壹號**　▼八月一日發行▼　**正價拾錢**　郵稅一錢　四冊四十二錢　八冊八十三錢　十六冊一圓六十錢

◎口繪　▽繪日傘▽海水帽(彩色石版)▽白百合▽少女會▽愛讀者の面影▽女學校めぐり△

▼唱歌　**海の歌**　花袋

▼小說　**橋姬**　小波

▼訓話　**虫飼ひ**　思案

●少女小訓：　●休暇中心得　●人形の着物　●露子の旅行　●恒子の行方　●夏の草籠：

▼手提**袋**の拵い方

▼四季樂しき**歸省**

▼風鈴**物語**

●黑白合姉妹……　●目の色〳〵……　●歌人まさ子……　●神田愛讀者會……　●上田愛讀者會……　●少女英語ボート……

東京本町三丁目　**博文館**　(郵便振替貯金口座二〇四番)

宮省用　內御達

大黑天印　甲斐產葡萄酒

▲天下に名聲綽々たる大黑天印甲斐產葡萄酒は純粹生葡萄酒にして藥用に適す

▲金線銀線赤線の三種あり金線十年銀線五年赤線三年釀造經過年限に依り區別せり

▲今回新に製造發賣せる甘味甲斐產葡萄酒は坊間鬻ぐ處の甘味葡萄酒とは其品質を異にし芳香佳味婦人又は酒を嗜まざる人に適す

◎**宮崎葡萄液**は理學藥學博士長井藥學博士下山兩先生の指導の下に創製せるものにして恰も葡萄の實を食する如く毫も酒精分を含まず腦を刺擊するの虞なく香味共に佳良にして消化力を助け血を增し肉を肥し日常之を飲用せば偉大の効を奏し衞生上必須の飲料なり

▲夏季ブランデー、ウヰスキー、氷水等に混じ用ゆる時は其味尤も妙なり

▲婦人又は酒を嗜まざる人の交際場裡に最も適當の好飲料なり

新發明　帝國醫科大學御用品

宮崎葡萄液

!!!暑中御進用　一本入二本入三本入半打一打箱入　化粧箱詰色々!!!

發賣元　東京日本橋區通旅籠町　**甲斐產商店　宮崎光太郎**

電話浪花八七〇番◎振替口座一九三七番

全國到る處の酒舖藥舖に於て販賣す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

洗濯髪洗外用途弘

東京市麴町區錢瓶町（常盤橋内）
日本興業銀行
電話本局（一、二八〇〇番　三、三〇〇番　四一番　（特）三七番　一〇二番）
資本金壹千七百五拾萬圓
營業科目
一擔保附社債に關する信託業務
一有價證券其他貴重品等の保護預
一有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

於勸業博覧會賜賞牌及褒狀
裁縫はさみ各種
（定價表は御報次第送呈す）
（電話浪花八五七番）（振替番號二九四七）東京日本橋てりふり町　あごや

美顏料
CREAM
色黒き人に告
クリーム石鹸
肌を艶白たらしめんと欲せば牛乳浴牛乳浴に勝るは
定價　小形十五錢　大形廿五錢　特　五十錢
香氣馥郁として香水香匂袋の代用をなす
輸入元　東京神田久右衛門町　オーケー商會

本品は高尚なる麝香に愛すべきスミレの香料を多量に含むがゆへ其の香氣馥郁として薫りを失はざる一大特点を有す
東京日本橋本石町
本舗　井上吉兵衛

薄毛に悩む人は（事）夫博士の醫學上より奇薬を得薄毛も濃くなり生へざる迄毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の禮狀を受け不思議のまゝ尚困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ……
東京々橋越前堀一ノ四　河村愛子

まだらの赤毛の人に
一瓶一組小册錢中五拾錢大一圓前金無料代金引換注文は廿二錢申受、取次人申込試驗液劑は獨逸醫學博士の發明に弊店多年の液劑を加味せし新藥にて僅か十分間に染上り黒き光澤を發し美麗なるは鳥羽の如く而して永久禿げる事なく毛を切らず皮膚に無害なるは弊店保證す明細書は郵券貳錢送れ
毛染所　東京京橋區本材木町三ノ四　岡田商店

夏半ゑり帶揚
浴衣地　優美高尚　縮緬　寶石入　木綿　眞珠入
別染中形　白台　御召　眞岡　絽
縮緬の類　帶片帶　丸帶　羅帶
出しネクタイ兵兒帶　緋襦袢　縞模樣　博多伊達
卷帛紗　見切品有
八月廿日迄　暑中景品進呈
新橋竹川町電話本店新二〇二七　ゑり治
神田表神保町電話本局九五二支店　ゑり治

大勝堂
東京銀座通尾張町
電話新橋二二六四番

皮膚特効美白新劑
チプリ化粧液
小瓶三十グラム入　金貳拾五錢　送料四瓶迄八錢

●本品は西暦千九百〇六年の發明にして常用せば肌を緻密にし自然白色艶麗の美顏たらしめ「ニキビ」「ハタケ」其他「顏ノアレ」等に最も奇効あり
●効能顯著なる爲め印紙貼用せり化粧水にして貼用せるは本品を嚆矢とす
●東京市内は勿論到る處の賣藥小間物化粧品店にあり品切れの節は送料八錢（四瓶迄）相添へ本舗へ御注文あれば直送す
日本一手販賣　東京日本橋區本石町　松澤常吉

うた口油
本舗　井善

最新流行　美術蒔繪櫛　笄簪　諸小間物　化粧品　和洋　香水
東京日本橋通

耳鼻咽喉病診療
入院應需
淺草區向柳原町一丁目二番地左衛門橋通り
電話下谷壹壹三〇番
中村醫院

水原産科婦人科病院
○神田猿樂町十二番地
○電話本局千八百九番
○院内ニ産婆學校アリ

●婦人病專門
院長　櫻井克己
芝明舟町十九虎門外宮樣前　電話新橋三三二四
櫻井醫院

岩佐病院　日本橋區蠣殻町二丁目廿三番地（電話浪花六九七番）
診察時間　自午前九時至正十二時
内科婦人科　院主　岩佐純
内科　院長ドクトル　岩佐新
（獨逸留學中）副院長醫學士　高田壽
外科　醫學士　山村正雄
産科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

院長醫學士　鳥山南壽次郎
鳥山内科院
午前診察　午後往診
京橋區鎗屋町十一番地　電話新橋千七百四十六番

神田區西今川町二番地（電話本局三〇一九）
内科病特に腦脊髓神經疾患
院長ドクトルメヂチーネ　峰秀世
峰内科醫院

○院長ドクトル　木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇番）
婦人科産科　木村病院

◉婦人科◉小兒科專門
午前宅診　午後往診
東京市麴町區飯田町四丁目九
女醫鷲山彌生

東京市日本橋區通一丁目
合名會社　森村銀行
電話（特）本局六七三番　本局四九八番
定期預金　六ヶ月以上　年六分五厘
當座預金　百圓に付日歩　一錢
小口當座預金　同日歩　壹錢參厘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日の家庭は皆な此の通り

京濱附近
無料出敎授

家庭用 職業用 シンガーミシン
月賦販賣

東京銀座、横濱山下町
仙臺國分町、札幌南一條
シンガー會社

寶丹……と寶丹用の匙は

盛に江湖の愛賞を蒙る

僞物あり左記所名に御注目を乞ふ

梅雨漸く去りて大暑將に來らんとす、此時朝夕に寶丹を一匙づゝ服用せられなば、濕氣を除き暑氣を拂ふ、殊に腸胃を調へて健康を增進す、是れ多年寶丹を愛用せらるゝ顧客の證言たり、謹んで大方の諸賢に告ぐ。

寶丹定價（家庭用 壹圓 貳圓 參圓／懷中用 廿錢 卅錢 五十錢／御試用……十錢）
金三十錢以上には服藥用として高尚優美の匙を添ふ

東京下谷池之端仲町廿七號所有地
寶丹本舖 守田治兵衛
電話下谷五三九番

胃病良藥 太田胃散

娛樂と實益とを兼ねたる婦人の夏季讀物
婦人世界
八月一日發行 三卷九號 一冊十錢 郵税五厘 六冊五十五錢郵税共 一冊九十錢郵税共

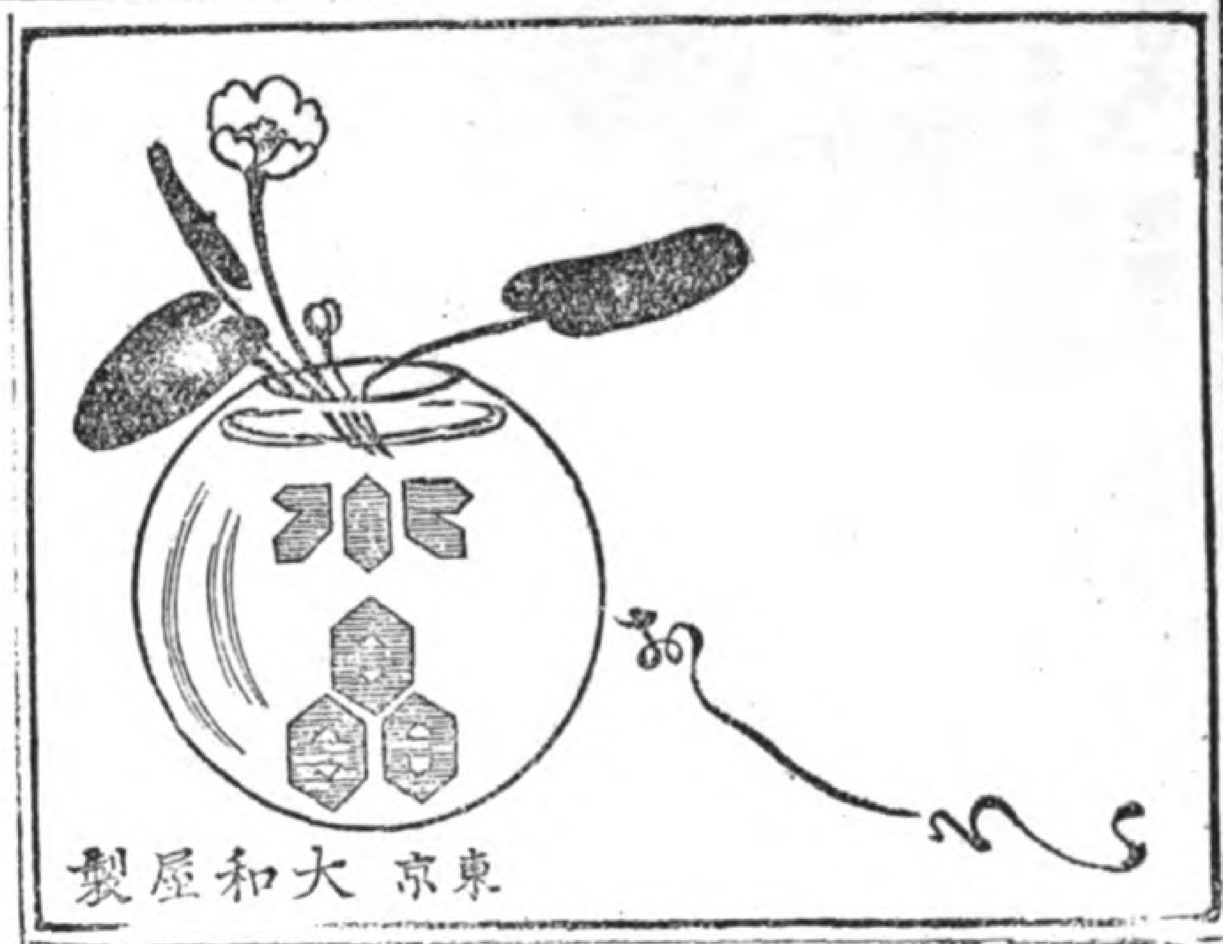
▲我が校の生徒は暑中休暇を如何に暮すか（小林第三女學校長）
◎女學生は如何に數學を學ぶべきか
◎少女の讀物母と子ども欄
◎明治の賢母 青柳浦子刀自苦心實歷
懸賞募集 面白くて誰にも出來る懸賞十餘種あり 何人も投稿せられよ
◎我が家に於ける育兒の實驗 醫學博士 加藤照麿
◎日本婦人の模範たる岩倉の美德 上松爵夫人… 山脇女學校長 山脇房子
◎私が妻を失ひたる當時の所感 日本女子大學校學監 麻生正藏
◎廿三年前私の女學生時代 藤生貞子
◎不姙症の婦人と溫泉 家實歷談
◎八十四歲の盲人の音樂談
◎弦齋夫人の鰻の料理談
◎姙娠中の脚氣 柳博士
◎小說（女敎師）平井晚林
▲男女結婚論 血統は如何に注意すべきか 村井弦齋

東京麴町區紺屋町 實業之日本社 振替貯金三三六二番

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮内省御用達
玉寶堂
電話下谷｛特九六五番／一一二四四番



東京 大和屋製

東京本店 堀内伊太郎 大坂支店
取次全國藥店
定價 金弐拾錢 金參拾錢 金五拾錢 金壹圓 金拾錢

資本金八百萬圓
東京京橋區木挽町 株式會社 十五銀行 電話新橋｛一五三〇番／三一三〇番／一九三三番
同日本橋區新乘物町 同 日本橋支店 電話浪花｛一九〇一番／三二七四番／三五〇八番
一定期預金 六ケ月以上年五分
一當座預金 日歩七厘以下
一特別當座預金 同

にせものあり御注意
安眠 のみよけ
本舖 東京銀座三丁目 松澤商店
定價 金三十錢 金二十錢 金十錢
▲遠國郵劵代用不苦送り料金二錢

▲明治四十一年新品發賣廣告

產科婦人科專門
診察每日午前 入院隨時
岩田病院
淺草區左衞門河岸 電話下谷一〇二八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮内省御用達

最も醬油之元祖

上

開業貳百六拾四年

釀造元 下總銚子町 濱口合名會社 振替貯金口座五〇貳壹番

最上醬油

品質ハ 印ト 少シモ 異リナシ

發賣元 日本橋區小網町三丁目廿七番地 濱口吉右衛門

釀造元 千葉縣銚子町 濱口吉兵衛

資本金 壹千萬圓

甘露醬油 ツメニホン

天下一品 マツニホン

最上醬油 フジニホン

最上醬油 ヒシニホン

釀造元 東京深川小名木川通 日本醬油釀造株式會社 電話浪花 三七三番 一五九五番

特約販賣店 合資會社 日本醬油東京販賣所 東京日本橋區北新堀町(電話浪花長一四六番)

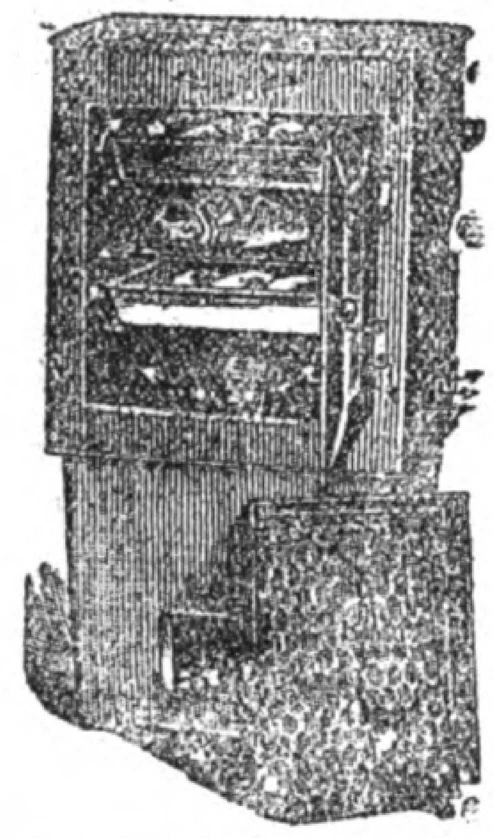
東京酒類問屋組合 其他 酒醬油仲買店及各小賣店に於て販賣致候

●最上醬油以下數種あり

專賣特許

名和式蒸燒器

一名(テンピ)



◉本器は圖の如く在來の(テンピ)と異り頂上に火を要せず火地輪に掛くれば火力は下部中央の穴より入り室の上部中央の穴より平均に火熱を周圍に普及し迅速に魚鳥獸肉類或は(パン)玉子等を加減よく蒸燒き得る輕便經濟なる家庭良器
▲定價(大)金二圓七十錢(中)金二圓二十錢(小)金一圓七十錢

製造發賣元 東京市日本橋區蠣殼町二ノ一五 電話浪花千百七十七番 販賣金物店洋酒鑵詰商 名和商店

THE GEM

ゼム

衛生家必攜　懷中良藥

愛國

理想の婦人

深き母、常に快活なる氣を以て子を育する母の爲身を愛し、家の事を執るに明敏なる婦人なる

家庭にあり又交際場裡にありて常に淸凉快活ならんには「ゼム」を服用せらるべし

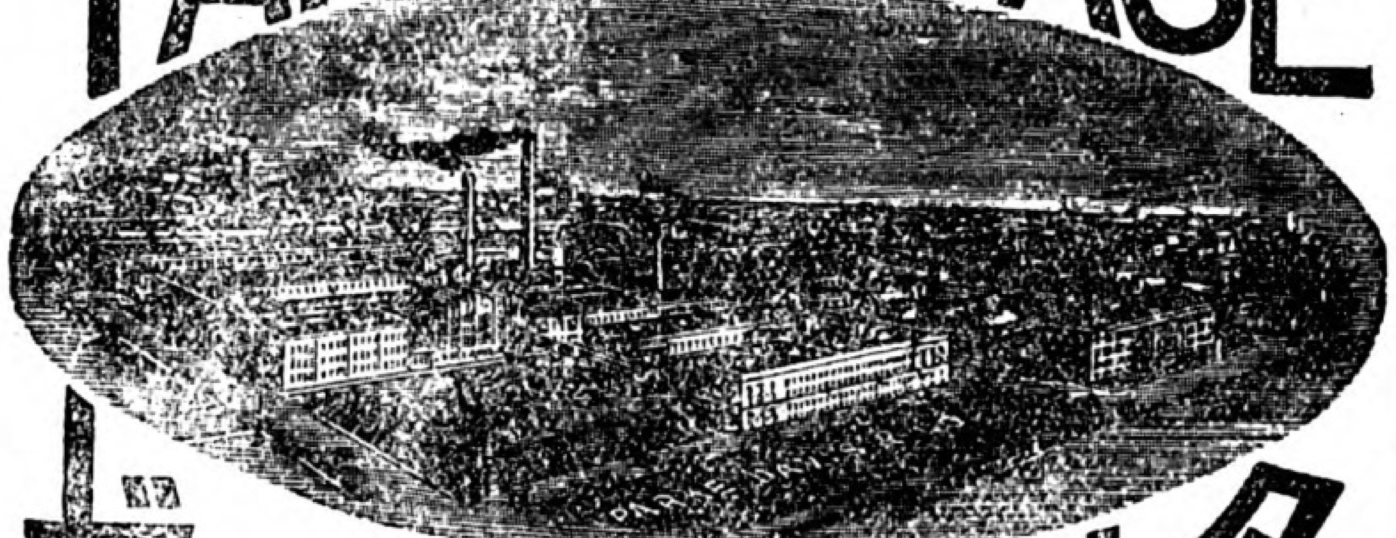
◎主効

◎頭痛◎眩暈◎氣鬱◎舟車醉◎時候傷◎水傷◎食傷◎消化不良◎口熱◎口中惡臭◎其他常用すれば氣分を爽快にし音聲を美にし諸種惡疫を豫防す。

定價七十五粒入十錢百六十粒入廿錢四百卅粒五十錢九百粒入壹圓容器入廿錢

東京馬喰町二丁目 愛國堂山崎榮三郎
大阪高麗橋二丁目 山崎兄弟商會

TAKA-DIASTASE



タカヂアスターゼ

世界最大の製藥工場

パークデビス社は完全なる設備を有する世界最大の製藥會社にして、上圖は其デトロイトに於ける本社工場の全景なり。此他同社は加奈陀及英國に同一規模の分工場を有し、世界の醫家が要求せらるゝ總ての醫藥品を製造す。

高峯氏發見消化新劑

タカヂアスターゼはパークデビス社の製品なり。完備せる裝置の下に熟練なる技術者に依り、製出せらるゝ本劑は品質純良、無瓶強度均一にして、又其効力永久不變なり。

醫師及藥舗諸彥!模造品製造者の誇大なる虛僞的廣告に誤らるゝ勿れ、世上本劑以上の賣品なきは歐米及吾多數醫學大家の實驗報告に徵し確認せらるべし、需用者は必らず高峯氏タカヂアスターゼと指定せられよ、本劑は粉末錠劑水劑の三種として發賣せり各地藥舖にて販賣す

代理店 東京南茅場町 三共藥品合資會社

內科 外科 産科 婦人科 耳鼻咽喉科 皮膚科 梅毒 泌尿器科 各專門分擔

東京病院 芝愛宕町 電話新橋(三六四)(三六二〇) 院長 醫學博士 男爵 高木兼寬

內科一般 東京神田美土代町三丁目十九番地 午前宅診 午後往診 板垣亨 電話本局貳千九百七十番

齒科治療 ドクトル 齋藤淸太郎 麴町有樂町帝國ホテル向(電本千五百十九)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜舍
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 京華社支店
同區南鍋町 廣告社

洗用 ワッセル

●此ワッセルは油じみ油あか如何なる汚れでも揉ずに必ず落る石鹸曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經上有利なる日用品であります
◉用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシャツの如きは（拾貳号）入一本にて貳百枚は必ず洗へますす御婦人の髪は一匁五分を一升餘の湯に溶拭してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具の拭き掃除にも有効です

定價　拾貳号入 金拾五錢　六号入 金八錢　袋入二錢

東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
三友商會

御婦人用
旅行化粧具
小兒用帽子
夏手袋沓下
ハンカチフ
リボン造花
小間物化粧品
其外御進物適當品種々

東京牛込神樂坂
朝日堂
電話番町一六九九

羽織紐
帯締　半衿
其外　組物一式
東京日本橋
電話　一〇六
振替貯金一一八五六

本場の特色
あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列販賣し市内は無償で配達致します
地方御注文を敏速にして確實に御望みの品を撰み發送致ます
東京新橋角
帝國博品館
電話新バシ 一六五二 二六二二

東京春陽堂發行
宮崎三昧氏著新刊
第三編
日本豪傑譚
紀文大盡
畑將軍
附録 千人切
實價金十五錢 郵税金四錢

第拾九編（七月十五日刊）
家庭お伽話
鵜取兵衛（高野斑山）
青鬚（吉岡向陽）
●懸賞答案發表●
（實價金八錢 郵税二錢）

肺炎に罹りたる後スコット乳菓を用て健全となりたる例證

Always get the Emulsion with this mark—the Fishman—the mark of the "Scott" process!

愚息儀肺炎に罹り滿三ヶ月間伏蓐罷在り萬一回復するも結局は肺結核となるべしとの事にて總身肉落ち骨顯れ見るも不憫の容体と相成申候然るに醫師の勸告に由りスコット乳菓を服用せしめ候處未だ一壜も飲み盡さゞるに食慾大に進み總ての經過良好となり現今にては却て罹病前の何れの時よりも健全にて相替らずスコット乳菓を嗜好致候拙者共はスコット乳菓が愚息に與へたる好果を視て右愚息の平癒を以て全くスコット乳菓の効験の致す所と確認致候

千九百六年三月十一日

シーフヰルド、ドールセット街六拾三番地
ジョン、イー、ブレーキー

右快復の理由

右ジヤッキー、ブレーキー、が肺結核とならずして快復したるは全くスコット乳菓中に含有する優逸なるロフオテン大口魚肝油（最上等にして最高價なる肝油）が其肺臟を癒やし其全身に良好堅劔なる筋肉を造成せしむるの精力を有したるが爲めなり

他のありふれたる大口魚肝油乳菓は斯くスコット獨得の完全なる製法に由りて充分に消化し易くせられたる最も純良にして最も活力に富める肝油にて製せられたるものに非らざるが故に斯の如き偉功を奏する能はず

包裝の大口魚を負へる漁夫は前述の如き驚くべき快復が唯偶然のことに非らずして確實の事實なることを保證す

三越で買物をなせしことなき御方!!!

三越はデパートメントストーアなりといふ。デパートメントストーアの如何なる者なるかは

遠ければ振替貯金三百番
振替貯金の便により不拘多少御注文被下度候

近くは寄つて店を三ツ越
續々御來店の上實地の樣を一目御覽被下度候
寫眞版入營業案内書は御一報次第御送り可申上候

東京日本橋
三越呉服店
振替貯金番號三〇〇番

明治四十一年八月五日發行（毎月五日廿日二回）（定價金三錢五厘一ヶ月七錢郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）
編輯人 永持德一
發行兼印刷人 山澤俊夫
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所
發賣所 同 京橋區南鍋町 株式會社隆文館
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町 秀英舍工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

愛國婦人會記事

□出張　客月十七日關評議員は本會を代表して石川支部能美郡幹事部總會へ出張の爲、午前八時新橋發列車にて出發せしに就き、本部評議員丹羽花子、高木錄子兩氏及事務員等新橋驛に見送れり。尙ほ同二十二日午后五時新橋へ歸着の同評議員を出迎へたる職員は左の如し

評議員山脇房子、尾崎八重子、仁杉うた子、東京支部幹事宇津木廣子、江藤照代、木村常野の各氏及事務員等。

□評議員會　夏季中定期例會を中止す。但し緊急を要する事件發生の際は臨時會を開くべし。

△廣　告▽

手島益雄なるもの本會機關雜誌愛國婦人編輯人たりしに事故有之昨年五月解傭候處其際より本人は本誌に紛敷新婦人と云ふ雜誌を發刊致居るも本會には一切關係無之ものなり然るに本會職員幷會員の中に往々此の新婦人を本會の機關誌と思はるゝ方も有之哉に聞及候に付爲念此段廣告候也

愛國婦人會

事務長代務愛國婦人發行所監督　佐藤正

右廣告は前號に揭載せるも脫漏の點ありしを以て更に是正揭載す

支部近況

△富山支部近況△

□會員募集及年醵金整理　同支部に於ては本年二月草野ちゑなる女子事務員を採用せしが右は本部遊說員の例に依り、支部內の各幹事部及分區の要求に應じ何時にても派遣せしめ以て會旨の普及と會員の增募並に年醵金の整理に盡力せしむる筈なりと而して客月五日より左の日割を以て下新川郡幹事部內各町村へ出張の由

一境村分區　會員募集　自七月五日至七月六日　二日間
一五ヶ庄村分區　仝　自七月七日至七月八日　二日間
一宮崎村分區　仝　自七月九日至七月十日　二日間
一浦山村分區　仝　自七月十一日至七月十二日　二日間
一下立村分區　仝　自七月十三日至七月十四日　二日間
一荻生村分區　仝　自七月十五日至七月十六日　二日間
一大家庄村分區年醵金整理　自七月十七日至七月廿一日　五日間

▽熊本支部近況△

□腹赤村列總會　玉石郡腹赤、鍋、六桑三ヶ村會員總會は客月八日午後一時より腹赤村安正寺に於て開會、熊本支部よりは幹事岡田鶴子山本峯子河內山たき子吉田事務員の四氏、玉石郡幹事部よりは顧問十時郡長代理三友雄氏及事務員開角政之の二氏出席し腹赤村幹事岡村とく子、岡村なみ子、松村たけ子、鍋村幹事荒木可笑子、六桑村幹事宮原なす子、築地とむ子、鍋村委員荒木村長、腹赤村委員松野助役、以下三ヶ村會員、遺族癈兵諸氏五百余名に達し場內殆んど立錐の余地なかりし先づ岡村幹事開會の趣旨を述べ、押川支部長祝辭、幹事部顧問の祝辭代讀あり、引續き支部より出張の幹事の挨拶あり會員總代の答辭次て吉田事務員は會務上及支部の遺族癈兵に對する救護其他諸般事業の現況に就き、詳細なる報告をなし本田元曹長(十八師團の軍隊布敎師)は同會の趣旨を平易明快に講演して大に一同の感動を惹し岡村幹事閉會を告げ、夫より茶菓の饗應ありて午後四時散會せり、當日は非常なる大雨なりしにも拘らず同地方近來稀なる盛會なりしと因に同村は幹事岡村とく子氏非常の盡力に依り多數の會員を有し、會費集調等も最も成績善く他の模範となり居れりと而して同幹事は去月東京に於て開かれたる第七回本會總會に出席せられし際東京癈兵院の製品湯呑を購買し、三ヶ村の遺族癈兵へ紀念として每戶に就き訪問して贈與せられたりとて一同仝氏の厚き同情に感泣したりと、尙今回の總會に就ては幹事岡村とく子同村みな子松村たけ子、松野助役、有志家岡村敬之の諸氏周旋盡力せられたりと、

宮城支部巡說記
第五回報告(承前)

野中彌智子

八日　休會

九日　午後一時橫山事務員同行腕車にて會場なる當市南鍛冶町東漸寺に至る二時開會龜井支部長奧宮石橋兩副長山本白石兩幹事、石森主事橫山事務員出席聽衆男女大人ノミ四百余名、遠藤助役開會の辭を述へ了て談話、仝助役閉會を告けしは五時過なりき

十日　午前六時出發龜井支部長竹內氏同行腕車を驅りて遠程七里の牡鹿郡石卷町に向ふ、清野幹事部長、平塚幹事、木村、岩城、松川、伏見、吉田、齋、岡田、宮島、會員、車上、山下村迄出迎はれ十時十五分着千葉甚旅館に入る、小憩の後幹事會員の案內にて招魂社に參拜夫より幹事部長宅に於て晝餐の饗應あり午後二時實業女學校に於て開會、清野顧問閉會の辭を述べ。支部長の挨拶あり竹內氏將來の希望を述べ次に講話五時閉會後遺族を一室に招き支部長より懇篤なる慰問をなし、菓子を贈與され一行は千葉甚旅館に一泊せり

十一日　午前九時出發龜井支部長竹內氏清野幹事部長同顧問、平塚幹事、木村、岩城、松川、會員、阿部郡衙記同行腕車を驅り渡波町に向ふ。同町有志者玉井廣四郎氏町の入口に出迎はれ、十時着一同海水浴場旅館に入る、小憩の後一行は內海町長並に水產學校長教員と共に海邊を散步し頃て松原間に用意しありたる椅子に腰打掛テーブルを圍み茶菓の饗應を受け夫より三々五々思ひ〳〵に松露狩をなし、一同歡を盡して歸宿せり午後二時小學校に於て開會、清野顧問閉會の辭に次き、龜井支部長の挨拶あり。竹內氏將來の希望を述べ了に講話五時閉會、遺族を一室に集め支部長より懇篤なる慰問をなし、菓子を贈與され直ちに腕車にて一同石卷に引返し千葉甚旅館に一泊せり、是にて宮城支部內十五郡の遊說終る

十二日　午前六時出發一行は腕車を驅り歸途に就けり仝十時松島驛に着松島ホテルに入る。十一時同驛發列車にて零時過着仙臺田旅館に宿泊せり

十三日　午前十時山本幹事の案內にて腕車を驅り當市私立朴澤女學校に至る、間もなく龜井支部長も到着され朴澤校長の案內にて四百有余名の生徒の授業を室內每に巡覽し、生徒の動作の熟嫻するに訓陶の行屆きしと校舍の構造の壯大にして且つ衞生的なると物質の整頓せるには一驚を喫せり、先つ私立裁縫女學校として全國一と言ふも恐らく過言にはあらざるべし、午後一時講堂に於て開會聽衆五百余名、朴澤校長開會の辭を述べ了て講話五時閉會四時間に涉る講話中生徒の靜肅なりしは他に比類稀なる程なりき、當日は龜井支部長石橋副長山本白石兩幹事石森主事出席當日の講話會に付、山本、白石兩幹事熱心に斡旋の勞を執られたり是にて當支部內一市十五郡の遊說全く終了せり

愛國婦人會會員女子人口比較表

明治四十一年六月末日現在

支部名	特別會員 終身	特別會員 年賦	特別會員 計	通常會員 終身	通常會員 年賦	通常會員 計	合計	卅六年末女子人口	女子人口百人ニ付會員比例	贊助員
山口	一六二	九三六	一、〇九八	一、〇五九	二七、五五七	二八、六一六	二九、七一四	五〇三、九二〇	五、八六	一三
石川	四七六	一、四九五	一、九七一	三五四	一九、一九八	一九、五五二	二一、五二三	三八五、四七八	五、五八	六七
山形	一六六	八三二	九九八	六一〇	二一、一五一	二一、七六一	二二、七五九	四三九、六一八	五、一八	一〇四
廣島	四三〇	二、〇三九	二、四六九	一、〇七八	三〇、七九八	三一、八七六	三四、三四五	七四六、六五八	四、六〇	九
愛知	四八八	一、〇九六	一、五八四	一、八二六	三四、二三三	三六、〇五九	三七、六四三	八六八、五三八	四、三三	一四一
福岡	三〇八	二、四〇九	二、七一七	六九〇	二九、四七八	三〇、一六八	三二、八八五	七七二、七四三	四、二六	四
岡山	二三六	八八七	一、一二三	三八一	二二、七六九	二三、一五〇	二四、二七三	五七七、二七二	四、二〇	一二
兵庫	五四三	一、七四一	二、二八四	一、二五〇	三三、二九一	三四、五四一	三六、八二五	八九三、七三四	四、一二	一八
神奈川	三九二	一、三六一	一、七五三	七四〇	一七、二六一	一八、〇〇一	一九、七五四	四九九、六二三	三、九五	四二
島根	一〇八	三四三	四五一	三四七	一三、四一八	一三、七六五	一四、二一六	三六二、六三五	三、九二	一
京都	四三四	二、一三二	二、五六六	五六三	一六、九五五	一七、五一八	二〇、〇八四	五二〇、三九五	三、八六	二一
愛媛	八九	一六一	二五〇	三二〇	一八、五三七	一八、八五七	一九、一〇七	[illegible]	三、七九	四七
富山	一二四	九三一	一、〇五五	一九〇	一三、一一一	一三、三〇一	一四、三五六	三八四、九八二	三、七三	五二
北海道及函館	三七三	二、八九四	三、二六七	四七七	一四、九一七	一五、三九四	一八、六六一	五〇七、六二八	三、六八	六三
熊本	二七八	二、六五三	二、九三一	三九九	一八、四二九	一八、八二八	二一、七五九	六一〇、四一一	三、五六	二二
青森	二〇〇	一、一三九	一、三三九	三六六	九、二〇六	九、五七二	一〇、九一一	三二二、二一一	三、三九	一〇
香川	二一六	六〇六	八二二	五一三	一〇、四二三	一〇、九三六	一一、七五八	三四七、八九〇	三、三八	—
群馬	二一七	一、二六八	一、四八五	一八八	一三、四九二	一三、六八〇	一五、一六五	四五四、一七一	三、三四	二
秋田	二三〇	六一三	八四三	四五六	一二、一八九	一二、六四五	一三、四八八	四〇三、九四六	三、三四	三
宮城	七六	三二九	四〇五	一五八	七、五五八	七、七一六	八、一二一	二四七、二五二	三、二八	一九
長野	一、二六五	二、三二一	三、五八六	一、一二八	一〇、五三三	一一、六六一	一五、二四七	四八九、三五〇	三、一二	二
佐賀	一二八	七八二	九一〇	一三一	八、八一二	八、九四三	九、八五三	三二七、六七八	三、〇一	二
福井	一一六	七一九	八三五	三〇九	七、八四八	八、一五七	八、九九二	三二〇、一五四	二、八一	一〇
大分	一二五	七三八	八六三	二六九	一〇、八七六	一一、一四五	一二、〇〇八	四三〇、〇二五	二、七九	三
宮崎	一九五	一、二七二	一、四六七	二〇五	一〇、二八九	一〇、四九四	一一、九六一	四四五、〇四七	二、六九	二
栃木	一五一	七二三	八七四	三八〇	一〇、九九四	一一、三七四	一二、二四八	四五〇、一二六	二、七二	七
三重	一一四	三二六	四四〇	五二五	一二、七七〇	一三、二九五	一三、七三五	五二二、〇四三	二、六三	六九
長崎	一八一	一、一三四	一、三一五	八四八	一五、五二一	一六、三六九	一七、六八四	六七四、二七五	二、六二	一三四
岩手	七七	五八六	六六三	一七七	七、六五四	七、八三一	八、四九四	三六九、二七八	二、五七	一
大阪	六二六	二、七九七	三、四二三	八〇八	一六、〇八四	一六、八九二	二〇、三一五	八六三、四〇五	二、三五	三四
奈良	三六	二五三	二八九	一三九	六、〇四三	六、一八二	六、四七一	二七八、一九一	二、三三	—
東京	一、三五七	七、五〇二	八、八五九	一、〇七二	一六、四二〇	一七、四九二	二六、三五一	一、一五七、五一四	二、二八	六六
福島	二六六	一、〇六八	一、三三四	六一九	一一、二四〇	一一、八五九	一三、一九三	五八二、一五六	二、二七	一
德島	八〇	二八〇	三六〇	三七二	七、二三九	七、六一一	七、九七一	三五二、六〇八	二、二六	六
靜岡	一四七	五七八	七二五	六九五	一二、四七八	一三、一七三	一三、八九八	六四〇、八四八	二、一七	二一
高知	三八	二一三	二五一	二三三	五、八二〇	六、〇五三	六、三〇四	三一八、二四五	一、九八	—
千葉	一七二	八四九	一、〇二一	四七六	一〇、七八四	一一、二六〇	一二、二八一	六五六、七八二	一、八七	二八
滋賀	一一七	三四二	四五九	五一二	五、七九五	六、三〇七	六、七六六	三六四、六八八	一、八六	一
茨城	六七	四六九	五三六	二五五	九、〇七八	九、三三三	九、八六九	六〇〇、四一三	一、六四	一
鳥取	三六	一七一	二〇七	七一	三、二六四	三、三三五	三、五四二	二一七、五四一	一、六三	五
山梨	五九	三三八	三九七	一八五	三、八一九	四、〇〇四	四、四〇一	二七二、一四八	一、六二	—
埼玉	八三	二九六	三七九	四四五	九、二九九	九、七四四	一〇、一二三	六二七、五五六	一、六一	三八
新潟	二七七	九二五	一、二〇二	七三三	一二、五六五	一三、二九八	一四、五〇〇	八九九、〇二一	一、六一	六四
鹿兒島	一二九	一、〇八八	一、二一七	一八八	七、〇〇四	七、一九二	八、四〇九	五九四、九八五	一、四一	八
和歌山	五七	二五六	三一三	一九八	四、〇九三	四、二九一	四、六〇四	三五〇、〇六九	一、三一	一
臺灣	七五三	七〇〇	一、四五三	二、九〇三	一二、〇七七	一四、九八〇	一六、四三三	一、四〇二、七七一	一、一七	—
岐阜	九九	七〇五	八〇四	一七五	四、四六六	四、六四一	五、四四五	五〇二、六五八	一、〇八	一
沖繩	四一	三一〇	三五一	四五	一、七五一	一、七九六	二、一四七	二三九、五二九	〇、八八	—
海外	—	七六〇	七六〇	—	四一〇	四一〇	一、一七〇	—	—	二、六一九
計	一二、三二八	五四、六七六	六七、〇〇四	二六、〇四一	六三九、〇一七	六六五、〇五八	七三二、〇六二	二五、三一三、〇四〇	二、八九	三、七六四

備考

(一)支部の配列は會員比例數の最も多きものより順次配列す

(二)北海道及函館の兩支部會員數は合算して揭載せり而して函館支部會員數は特別五百十四人(終身六十二人年賦四百五十二人)通常千八百十九人(終身七十八人年賦千七百四十一人)にして他は北海道支部會員數なり

(三)海外の分は報告未着に付終身會員並に年賦會員の區別を爲す事能はず暫く從前の報告を以て塡補せり

注!! 逸したる機會は再び捉ふること能はず

奧村五百子詳傳　全一冊四六版洋裝美本　正價五十錢郵稅(市內四錢 地方八錢)

意!! 既に僅少となりたる本書の殘部は此際至急申込にあらざれば悔ゆとも及ばざるべし

國民の寶典として家庭の好讀本として將た愛國婦人會の側面史として必讀を會員諸氏に奬む

申込所　愛國婦人會發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支部近況

▽佐賀支部近況△

□東松浦郡幹事部　有浦村委員部にては客月十一日第二回總會を同地高等小學校に開く、參會者七拾餘名にして午後三時會は左の順序を以て盛大に擧行せられたり。

第一、同村長松隈鋱造氏開會の辭及會務狀況報告。(後出)

第二、東松浦郡幹事部顧問代理の令旨奉讀

第三、支部主事藤澤喜士太氏は愛國婦人會の起源より說き起し、苟くも婦人會員たるものは會の主旨に從ひ飽迄勤儉の初志を固持して社會風紀の矯正に注意すべき事を懇言す

第四、同幹事部事務員江口丹次郎氏は婦人の道といふ題下に婦人の本分に就て講演說す。

第五、萬歲三唱

第六、一堂に團欒して各自携帶の折詰を開き十分の歡を盡し和氣靄々の裡に散會せり。

附記　我愛國婦人會の趣旨は軍人遺族及廢兵を救護すると共に、一方には國民の儉勤貯蓄を奬勵するにあるを以て、同委員部總會の各自辨當を持參して會合せるが如き美風は本部の最も歡迎する處にして今後一層各地方に此美風を普及せしめたきものなり。

第二回有浦村愛國婦人會總會報告

一、明治卅七年末迄は會員十二名なりしが日露の大戰役に當り、義憤心發揮し漸々增加して七十餘名に昇りしに卅九年三月愛國婦人會遊說員奧村窩樫兩女史の講話に感激して、一躍現下の百拾六名となり本村女子人口に對比すれば、九人五分に付會員一名の割となれり。

二、入會後時費の不納者等一人もなく整理上毫も煩累を認めたることなし、漸々婦德の涵養を努め本會の趣旨に副はんことを期せり、

三、左に會員一覽表を附記して貴覽に供す。

右狀況を報告するは本員の光榮とする處にして玆に一同に代り愛國婦人會の隆盛を永遠に祝す

明治四十一年七月十一日

有浦村委員　松隈鋱造

明治四十一年七月十一日現在會員一覽表(有浦村)

大字	女子人口	特別	通常	合計	一人ニ對スル人口
小加倉	八八		一〇	一〇	
有浦下	一三一		一二	一二	
有浦上	二四三	一	三六	三七	
長倉	一三〇		一一	一一	
諸浦	二〇九	一	二六	二七	
新田	四八		一	一	
平形	一二九		八	八	
大串新田	五		〇	〇	
畠木	一一八		一	一	
合計	一、一〇二	二	一一四	一一六	九、五〇

▽韓國本部近況▽

■平壤委員部　去五月二日第一回總會を統監府鐵道管理局平壤出張所構內俱樂部に開き、表裏出入口には各大綠門を立て之に愛國婦人會平壤委員部總會と題せる扁額を掲げ、日韓兩國旗を交叉し式場の庭內には、すし、しるこ、ビーヤホール茶菓店等の各種摸擬店を造り、郵便局を特設して紀念スタンプを押捺し、郵劵及繪端書の賣店、紀念品交附所、救護班等の準備凡て整ふ。曉來强雨ありしが午前十時頃より天氣晴れ渡りたれば煙火を揚げて開催の告知をなす。斯くて十時半頃より委員を始め會員婦人贊助員及來賓諸氏陸續として參集し、午後一時韓國本部員大橋次郎氏の入場と共に、煙火を合圖に會員一同式場の庭內に整列し、紀念の撮影をなし、同一時半爆竹を以て開會の事を告知し會員一同及平壤尋常高等小學校高級女生徒は君が代の國歌を唱和し終るや委員副長小城高子氏の開會の辭あり次に委員長は謹んで令旨を捧讀し、次に委員部事務員會務の報告をなし、次に菊地委員長の式辭朗讀あり、次に韓國本部長代理大橋次郎氏の祝辭代讀、委員部顧問菊地武一氏の祝辭演說、會員總代委員中村コト子氏の祝辭等漸次に會は進行し終りに、會長及韓國本部顧問鶴原定吉同相談役伯爵兒玉秀雄、韓國本部委員副長三浦小宮兒玉三夫人、龍口委員部委員長石川夫人等の祝電を披露し、小學校女生徒が「婦人の鑑」の唱歌に次て小城委員副長は閉會の辭を述べ、夫々紀念品の配付をなし各摸擬店を開始すると共に、各會員夫人令孃等の餘興に移り午後六時散會せり。

▽北海道支部況△

一、支廳會議の爲來札の各幹事部顧問を六月二十四日午後より支部樓上招集し河島支部顧問より
一會員增募の件
一未納會費整理の件
一遺族廢兵救護の件
一會費送納の件
一會員名簿整理の件
其他會務上緊要事項を指示する所ありたれば着々遂行の豫定なり

二、幹事部及委員部に於ける會費金及經費取扱規程十ヶ條を制定し本年度より實施の事に河島支部長より各幹事部長へ通牒せり

三、當支部內在住の職會員中會務上盡力又は篤志を以て有功章を授與せられたる人々の功績を永久に傳へんとの目的を以て目下寫眞の募集中なるか揃り次第額面に仕上支部に備付保管することゝせり

四、本道信部の沿革並に會務擴張の狀況、戰役中の行動、會員の事業、篤志者小傳、等に日本赤十字社支部の記事と併せて一卷となし護國の礎と題する書を發行せるものあり支部は便宜も與へ會員には實費を以て販賣しつゝあり(七月廿三日附報告)

【附言】記者云ふ『護國の礎』は前項支部報告にも在るが如く赤十字社及愛國婦人會北海道支部紀念として發行されたるものにして卷頭には閑院總裁殿下御眞像を掲げ、その他河島顧問の『博愛』の二字、高岡參與の序文等を掲げたる參考とすべき册子なり定價は三十五錢

▽岩手支部近況△

當支部長笠井芳子は愛國婦人會第七回總會の情況報道の爲め客月廿九日を以て評議員會を岩手縣廳內に開きたり此日朝來の密雨は午後に至りて彌々猛烈を加へ沛然盆を覆すか如き勢を呈し來りたるに係らす正副支部長以下評議員の參集する者二十三名に達し孰れも國炎溽濕たり亦以て會務に竭す熱誠の一端を推知するに足らん乎午後二時當支部長開會を宣し嚮頃　皇后陛下令旨の謄本と總裁殿下御答辭の謄本とを各評議員に頒ち天恩愛涓懇泣に堪へさる事を述へ併て深厚なる御答辭の旨趣を敷衍し俱に共に本會の爲めに益々奮勵して以て懿旨に副ひ奉らん事を誓ひ第七回總會報告記事明治四十年會員數及醵金成績優劣席比較調査書等を配付して總會の槪况を演へ記念の扇子を分與したり

今回規準制を廢して百分比例に替へ同時に交付金の步合變更せられたる結果當支部四十一年度豫算更正案と支部會計規則改正案とを附議し會計に關する諸種の帳簿を展示して懇篤說明を與へ改正の理由を陳弁したるに何れも異議なく原案に可決したり今參考の爲め支部會計規則改正理由の要領を摘錄せん曰く

支部會計の事務や極めて簡單なり即ち本會の目的は會員の醵金を集めて戰死者の遺族廢兵を救護するに在るを以て會計の事務は大體收支の二途に出てず從つて日常の事務は極めて簡單ならざる可らず然るに事實は煩く之に反し錯雜紛糾理想の外に出つるものあり當支部此五年以來會員の名簿は手入不行屆して會費の納否更に明晰ならず會員の異動起生消滅の帳簿に脫せる者亦頗る多く收支の蹤迹隱除に屬し老巧上依據すべき證憑往々にして散逸し容易に整理すべからざるものあるなり乃ち之れが調査整理に關しては過般來特に事務員を增聘し早出晩退心力を竭し今尙孜々として之に從事せしめつゝあるを以て近邇の間に効果を奏する事を得べし斯の整理中最も切要を感じたるは收支の事務を簡潔ならしむると共に其の痕迹を明晰にし事後の考覈に支障なからしむる事是なり仍物品の購入金圓の支出は共に一定の帳簿に依りて處理し以て事務に要せし圖籍の繁文を省き幹事部より送付する會員は其の送納書及領收原票等に依りて支部の會員臺帳に逐ゝ之れか整記を爲す其の外尙會費徵收簿を製して其交付金實收高等を記載し數年に涉る巨額の收入も幹事部每に歷然明白ならしめ支部直接の諸收入に關しては領收證の原票を製して收入の事蹟を明にして且此等收支に係る證憑書類は整置に編綴し十ヶ年間之を保存するの制を設け現金は悉皆銀行に預入れ之れか引出に關しては毫も過誤失態なからしむる爲め其の引出證書には支部長の職印の外必す支部長主事の檢印を押捺する事とし若し此等檢印なきものは支部は一切其責に任せざる事を豫め銀行と締約し以て不虞の損害を招徠する事なかしむるの方法を執らんとす是れ今次會計規則の改正を必要とする所以なり

右會議終りて田中支部副長の新任を迎ふる意嚮に於て茶話會を開き茶菓の饗應あり鍛談時を遷し午后五時散會したり

岩手支部會計規則中改正案

第十條を左の如く改む

第十條　支部に於て會費の納付を受けたるときは銀行より到達したる通知書に照較し相違なきを認むるときは會費徵收簿に記載して支部長へ提出し收入の認を受くべし

第十二條を左の如く改む

第十二條　前條に依り直接金員を受領したるときは第二號書式の領收證を納付者に交付するものとす

第十六條左の如く改む

第十六條　收入に係る證憑書類は十ヶ年間之を保存するものとす

第十九條左の如く改む

第十九條　物品を購入せんとするときは當業者より見積書を徵し物品購入經伺簿に其金額及要旨を記載し之に關係書類を添へて支部長の決裁を經るものとす但貳圓未滿の物品は主事限り購入の手續を爲すことを得

第二十條左の如く改む

第二十條　金圓の支出は支出經伺簿に其金額及要旨を記載し之に關係書類を添へ支部長の決裁を經るものとす

第二十條の次に左の一條を加ふ

第二十一條　預金を銀行より引出さんとするときは如何なる場合と雖も必す第五號樣式の受取證を使用すべし

第二十一條以下順次繰下く

第三章の末尾に左の一條を加ふ

第二十八條　支出に關する證憑書類は十ヶ年間之を保存すべし

第二十七條を第二十九條に改む

附記右各條中第何號樣式とある樣式は此を略す

改正條項參考

第十條　支部に於て年醵金の納付を受けたるときは銀行より到達したる通知書に照較し相違なきを認めたる上收入の取扱を爲すべし

第十二條　前條に依り直接金員を受領したるときは領收書を作成し支部長の職印及主事之に捺印して納付者に交付するものとす

第十六條　收入の證憑は送納書甲號切符銀行通知書又は本人の納付書其他事實の正確を證する書類とす

第十九條　物品を購入するときは當事者より見積書を差出さしめ價格相當と認むる者より購入するものとす、但見積書を徵し難き者は其旨回議に付記するものとす

第二十條　會員の支出は支部長の職印及主事捺印したる銀行預金取領書を以て預金の內より引出の手續を爲すべし

明治四十一年八月五日發行(每月五日廿日二回)(定價金三錢五厘一ヶ月七錢郵稅不要)(廣告料一行金六拾錢)
發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　永持德一
發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所
發賣所　同京橋區南鍋町　株式會社隆文館
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町　秀英舍工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十一年八月五日（每月二回五日廿日）發行　明治三十五年三月二十七日第三種郵便物認可

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY

愛國婦人會各支部職員小肖

長崎支部對馬幹事部幹事
佩三等有功章古森峯子

群馬支部勢多部幹事部長
佩一等有功章福田里子

群馬支部北甘樂郡幹事部幹事
佩三等有功章紳宮はる

長崎支部特別會員
佩三等有功章川上マコ子

北海道支部幹事
佩三等有功章武川ロク子

北海道支部幹事
金牌受領者田中タネ子

發行兼印刷人山澤俊夫　編輯人永持德一　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN